HFA200

Home Fire Alert®

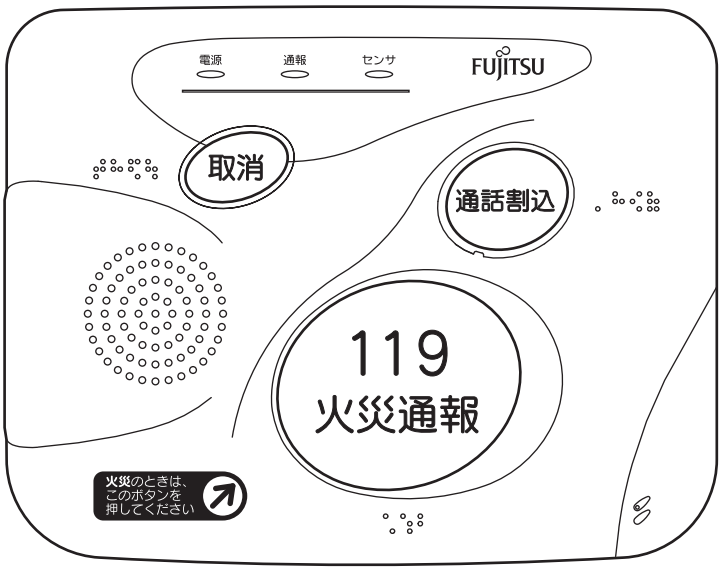
特定火災通報装置

ホームファイアーアラート®

設置工事説明書

T101-2020-01
2011年 6月 (01)

本体



この度は、特定火災通報装置、ホームファイアーアラート®をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
設置工事の前に、本書をお読みになり、本製品を正しく工事されるようお願い申し上げます。
また、本書をお読みになったあとも、大切に保管して下さい。

特定火災通報装置は、以下の認定および規格を取得しております。

・(財)電気通信端末機器審査協会
・(財)日本消防設備安全センター

施工にあたっての留意事項

●本製品への各種設定、蓄積音声情報の登録、自動火災報知設備の連動工事を含む施工には、甲種第4類消防設備士・第２種電気工事士（電気設備工事が必要な場合）・電話工事担任者（電話回線の接続がモジュラージャック以外の場合）の資格が必要です。

●本製品のご使用にあたっては、火災通報装置の基準に基づいた蓄積音声情報の本製品への書き込みが必要です。
蓄積音声情報の書き込みには、別途、メッセージ編集ソフト、あるいはメッセージ書込ソフトが必要です。

●ADSL回線に本製品を接続する場合、ADSLモデムの外部にスプリッタを設けて、接続して下さい。
（ADSLモデムの電話機接続口には、本製品を接続しないで下さい）
本製品は、ISDN回線（ターミナルアダプタ経由）、IP電話回線、内線、４線式や６線式の電話回線（ホームテレホンやビジネスホン等）に接続して使用することはできません。

●本製品は、日本国内用に設計されています。海外では使用できません。

●本製品は、火災発生時に火災ボタンを押すことで、消防機関へ自動的に火災発生を通知する装置です。
本製品は、火災を防止したり、消火を行う装置ではありません。万が一の火災などによる損害については、責任を負い兼ねますので、ご了承下さい。

●ＶＣＣＩ クラスＢについて

本製品は、第二種情報処理装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報処理装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）基準に準じております。しかし、本製品をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい方法でお使い下さい。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通テレコムネットワークス株式会社 2011

はじめに

この説明書は、設置工事者および保守者に特定火災通報装置の設置工事や設定方法について説明したものです。
本製品は、任意のメッセージを取扱うことができますが、任意メッセージの装置の書込、メッセージの編集については
別冊の説明書を併せてお読み下さい。また特定火災通報装置の取り扱い方法については別冊の取扱説明書を併せてお読み下さい。

特定火災通報装置　取扱説明書 T101-2017-01	日常の取扱い方法について
特定火災通報装置　設置工事説明書 T101-2020-01	据え付け工事・動作設定・メンテナンスについて
メッセージ編集ソフト　取扱説明書 T101-2022-01	任意メッセージの作成・書込について
メッセージ書込ソフト　取扱説明書 T101-2023-01	任意メッセージの書込について

本製品の特長

本製品は特定火災通報装置です。火災通報装置の基準（平成８年消防庁告示第一号、改正平成２０年消防庁告示第二十九号）
（以下「基準」と記載した場合にはこの基準を示します）に基づく、ハンズフリー通話機能を有する火災通報装置です。

●本製品は、消防法施行令別表第一(六)項ロに掲げる防火対象物で、延べ面積５００㎡未満の小規模社会福祉施設等に設置
　することができます。

●本製品への電源接続は、電源コンセントで行いますので、ネジ止め接続を行う必要はありません。

火災ボタンが押された場合は、基準に基づき、通報信号音と音声情報を消防機関に通報します。
また自動火災報知設備と連動して消防機関へ通報することもできます。
音声情報は「火災である旨並びに防火対象物の所在地、建物名及び電話番号の情報その他これに関連する内容」と基準に
定められています。各消防機関は基準に準拠し一定の音声情報の形式を定めています。
本製品は、各消防機関の定める形式に柔軟に対応できるよう、メッセージ編集ソフトを利用して任意メッセージ（最大３つ）
を作成し、本製品に登録できます。
またすでにメッセージ編集ソフトで作成された任意メッセージを、本製品に書き込む場合に利用するメッセージ書込ソフト
も用意されています。

● 火災ボタンが押された場合の通報例
ピーピーピー、ピーピーピー（通報信号音）、火事です。火事です。（火災である旨）、「川崎市、高津区、坂戸、1丁目
17番地3号」（任意メッセージ１、所在地）、「富士通テレコムネットワークス。」（任意メッセージ２、建物名）、
「電話番号は044-813-5184。」（メッセージ3、電話番号）、ピーピーピー、ピーピーピー、火事です。火事です。
「川崎市、高津区、坂戸、1丁目17番地3号」、「富士通テレコムネットワークス」、「電話番号は044-813-5184」、
「ハンズフリーに切替ります。」とメッセージが消防機関に送出され、ハンズフリーに切替り、消防機関と会話が出来ます。
この例の場合、メッセージが２回繰りかえされた後に、「ハンズフリーに切替ります。」となっているのは、設定番号018
（メッセージ出力回数）の設定が２回に設定されているからです。（「4.2　動作設定のしかた」の設定項目一覧表（その1）参照）
１回にも変更できます。「ハンズフリーに切替ります。」を含めた１回のメッセージの送出時間は３０秒以内と基準に定められ
ていますので、実際に出力されるメッセージ１回の合計時間を確かめる手段が本製品に組み込まれています。
「4.4 通報されるメッセージについて」をご参照下さい。

● 自動火災報知設備と連動する場合の通報例
ピンポーン、ピンポーン（通報信号音）、自動火災報知設備が作動しました。（火災である旨）、「川崎市、高津区、坂戸、
1丁目17番地3号」、「富士通テレコムネットワークス」、「電話番号は044-813-5184」、
ピンポーン、ピンポーン（通報信号音）、自動火災報知設備が作動しました。（火災である旨）、「川崎市、高津区、坂戸、
1丁目17番地3号」、「富士通テレコムネットワークス」、「電話番号は044-813-5184」、「ハンズフリーに切替ります。」と
メッセージが送出されます。

●本製品は、予め本製品に書き込みを行った任意の音声メッセージを出力することができますが、任意の音声メッセージは
　消防機関ごとに決められた様式に従い施工店、または販売店が作成し、本製品に書込みを行います。

施工上のご注意

次のような場所には設置しないで下さい。（誤動作や故障の原因となります。）

●直射日光の当たる場所
●水滴、蒸気、ほこりなどがかかる場所
●周囲に操作上支障となる障害物のある場所
●衝撃、振動などの影響を受ける場所
●常に人がいなくてようすを確かめられない場所
●薬品などのガスが発生する場所
●強電界やノイズの発生する場所

施工時のご注意

●本製品に電話機を接続して使用される場合は、電話機を本製品の直近に設置し、非常用送受話器として兼用している旨の表示を行って下さい。
本製品と離れた場所に電話機を設置する場合は、不用意に受話器が外れないようにご注意下さい。
本製品で消防機関と通話中に受話器が外れると、通話が電話機側に切替ります。
（この際、ハンズフリーから電話機へ通話が切り替わったことをガイダンス等でお知らせしませんので、ご注意下さい）
●工事・施工時のゴミなどは本製品内に残さないで下さい。（ショートや故障の原因となります）
●「第Ⅰ部 ３.２ 接続（配線）のしかた」に示す以外の機器を接続する場合には、弊社までご連絡下さい。
不適切な接続は、誤作動・故障の原因になります。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書などをお渡し下さい。

装置故障について（注意）

●本製品設置時に電源プラグを差し込んだ直後、火災ボタンとその他3つのランプ（通話割込ボタン、通報、センサ）が交互に1秒点滅している場合は、端末初期化チェック時の異常です。
もう一度電源プラグを入れなおして、電源ランプが点灯すれば正常です。
電源プラグを入れなおしても、火災ボタンとその他3つのランプ（通話割込ボタン、通報、センサ）が交互に1秒点滅している場合は装置故障ですので、装置交換が必要です。

●本製品稼働中に電源ランプが早く点滅している（1秒点灯、1秒消灯）、定期的（１分）に音（ピッ）が鳴っている場合は、装置故障ですので、装置交換が必要です。

●本製品稼働中に電源ランプがゆっくり点滅している（1秒点灯、9秒消灯）場合は、停電です。
コンセントが抜けていないか点検して下さい。

安全にお使いいただくために

この設置工事説明書には、本製品を安全に使用していただくための、重要な情報が記載されています。
正しくお使いいただき、身体への危害や財産への損害を与えないために、いろいろな絵表示を記載しています。
次の絵表示と意味をよくご理解してからお読み下さい。

本書の記載について

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または、重傷を負うような切迫した危険が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷または、中程度の傷害を負う可能性が想定される内容および製品自身またはその他の使用者等の財産に損害が生じる危険が想定される内容を示しています。
⃠ 禁止	この表示は、一般的な取扱いで［禁止］とする内容を示しています。

⚠ 警告	●本製品の使用環境について 本製品は「第Ⅳ　2　仕様」に記載します仕様の環境において、ご使用されることを想定しています。 なお、仕様環境範囲外でご使用された場合、使用者および周辺の方の身体や財産等に予期しない損害が生じる恐れがありますので、ご注意下さい。 ●本製品の取扱いについて むやみに改造を加えたり、本製品の中古品をオーバーホール等によって再生した場合、使用者および周辺の方の身体や財産等に予期しない損害が生じる恐れがあります。絶対に行わないで下さい。 ●内蔵バッテリーについて 内蔵バッテリーを分解したり、火中に投じると破裂の危険があり、使用者および周辺の方の身体や財産等に予期しない損害が生じる恐れがありますので、ご注意下さい。 又、バッテリーが適切でない種類と交換された場合、爆発の危険がありますので、必ず専用品を使用して下さい。 なお、保守者以外は、交換作業を絶対行わないで下さい。 ●本製品と内蔵バッテリーの廃棄に伴う留意点 一般廃棄物として廃棄してしまうと、所属自治体の規則に反することとなります。本製品を廃棄する場合は所属自治体の規則に則って処分して下さい。 ●電波障害について 強力な電波により本製品が誤動作する場合があります。
⚠ 注意	●内蔵バッテリーについて 内蔵バッテリーは３年ごとに交換する必要がありますが、安全をみて２年半程度で交換することをお薦めします。 定期的に交換しない場合、停電保証ができなくなり、事故の原因となります。 ●本製品の設置場所について 粉塵の異常に多い場所、強力な磁気や電気雑音を発生する機器の近く、日光の直接当たる場所、水のかかる場所、および高温多湿な場所には設置しないようにして下さい。 ●本製品の保管について 保管状態により、使用したとき、正常な動作ができなくなる恐れ、または人が危険にさらされる恐れがありますので、本製品を保管する場合は、日光の直接当たる場所や高温多湿な場所をさけ、平らな場所に保管して下さい。その際重量物を本製品の上に置かないようご注意下さい。メーカー出荷後、長期間（３ヶ月程度）電源を投入しませんと、内蔵バッテリーおよび本製品が正常に動作しない恐れがあり、品質的に保証しかねます。長期間電源を投入する予定がない場合は、恐れ入りますが本製品の電源を入れ、内蔵バッテリーの充電を行って下さい。 （内蔵バッテリーの充電は、施工店、販売店にご相談下さい） ●ダイヤル式電話機の接続について ダイヤル式の一部機種については、センタ呼び出し時にベル音が１回なる場合がありますが、故障ではありません。
⃠ 禁止	●日常の取扱いについて バッテリーポケットのふたは工事／保守者以外は開けないで下さい。また、分解しないで下さい。 ●本製品に接続する電話回線について ホームテレホンやビジネスホン等の４線式または６線式の電話回線を接続しないで下さい。 装置に過電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。 ●内蔵バッテリーの過放電について 電源プラグをコンセントから抜いた状態、または電源供給元（ブレーカー等）を停止した状態で、本製品を長時間放置しないで下さい。内蔵バッテリーが過放電となり、元の電源容量を確保できなくなる場合があります。 本製品を長時間使用しない場合は、内蔵バッテリーを外して下さい。（内蔵バッテリーの取り外しは、施工店、販売店にご相談下さい）

目　次

☆　はじめに
☆　本製品の特長
☆　施工上のご注意
☆　施工時のご注意
☆　装置故障について（注意）
☆　安全にお使いいただくために

ページ

第Ⅰ部 設置・調整 ――――――――――――――――――――――――――――――― 1
　1 設置工事フロー ――――――――――――――――――――――――――――― 1
　2 製品の確認 ――――――――――――――――――――――――――――――― 2
　3 設置と接続のしかた ―――――――――――――――――――――――――――― 2
　　3．1 設置場所の決定 ―――――――――――――――――――――――――――― 2
　　3．2 接続（配線）のしかた ―――――――――――――――――――――――――― 4
　　3．3 設置のしかた ――――――――――――――――――――――――――――― 5
　4 設定のしかた ――――――――――――――――――――――――――――――― 6
　　4．1 設定作業フロー ―――――――――――――――――――――――――――― 6
　　4．2 動作設定のしかた ――――――――――――――――――――――――――― 7
　　4．3 メッセージの試聴と設定のしかた ――――――――――――――――――― 18
　　4．3．1 メッセージの試聴のしかた ―――――――――――――――――――― 18
　　4．3．2 メッセージの設定のしかた ―――――――――――――――――――― 19
　　4．4 通報されるメッセージについて――――――――――――――――――― 20
　　4．4．1 メッセージに関する設定項目について ―――――――――――――― 20
　　4．4．2 メッセージ出力順序について ―――――――――――――――――― 20
　　4．4．3 メッセージ出力時間の確認について ―――――――――――――――― 21
　　4．4．4 任意メッセージの作成について ―――――――――――――――――― 21
　　4．5 常夜灯機能について ―――――――――――――――――――――――― 22
　　4．6 設定値初期化のしかた ――――――――――――――――――――――― 23
　5 動作確認のしかた ――――――――――――――――――――――――――――― 24
　　5．1 火災ボタンによる通報を行う場合 ―――――――――――――――――― 24
　　5．2 自動火災報知設備による通報を行う場合 ―――――――――――――― 25
　　5．3 その他の通報も行う場合 ―――――――――――――――――――――― 25
　6 コンセント抜け防止金具の取り付け ―――――――――――――――――― 26

第Ⅱ部 メンテナンス ―――――――――――――――――――――――――――――― 27
　1 バッテリー交換のしかた ―――――――――――――――――――――――――― 27
　2 定期メンテナンスを便利にするための機能 ―――――――――――――――― 28
　　2．1 外部警報停止機能 ――――――――――――――――――――――――― 28
　　2．2 停電動作確認機能 ――――――――――――――――――――――――― 28
　　2．3 遠隔操作の機能 ―――――――――――――――――――――――――― 29
　3 消防用設備としての保守点検 ―――――――――――――――――――――― 30
　　3．1 保守に必要な資格 ――――――――――――――――――――――――― 30
　　3．2 定期保守点検の義務 ―――――――――――――――――――――――― 30

第Ⅲ部 装置の撤去 ―――――――――――――――――――――――――――――― 31
　1 撤去のしかた ――――――――――――――――――――――――――――――― 31

ページ
第Ⅳ部 その他 －－ ３２
１ 工事に必要な工具類 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ３２
１．１ 必要工具 －－ ３２
１．２ 必要部材 －－ ３２
１．３ オプション／消耗品 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ３２
２ 仕様 －－－ ３３

第Ｖ部 添付資料 －－ ３４
１ ＨＦＡ２００本体の外観図 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ３４
２ 設置スペース（壁掛け） －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ３５
３ 設置工事チェックシート －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ３６
４ ADSLをご利用されている場合 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ３８
５ 設定モード遷移図 －－ ３９
６ 火災ボタン・自動火災報知設備連動（センサ１）通報以外の通報事象 －－－－－－－－－－－－ ４０
６．１ 通報動作について －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ４０
６．２ 通報先が留守番電話機の場合の対応について －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ４１
７ トラブルシューティング －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ４２
８ 位置決めテンプレート －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ４３

第Ⅰ部　設置・調整

1　設置工事フロー

本製品を正しく設置し、動作させるために、以下のフローに従って設置工事を行って下さい。

1　製品の確認　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.　2

ＨＦＡ２００と添付品を確認して下さい。

2　設置と接続のしかた　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.　2

周辺機器およびＨＦＡ２００の設置・接続を行って下さい。

3　設定のしかた　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.　6

ＨＦＡ２００の動作設定・メッセージ設定を行って下さい。

4　動作確認のしかた　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.２４

周辺機器およびＨＦＡ２００の動作確認を行って下さい。

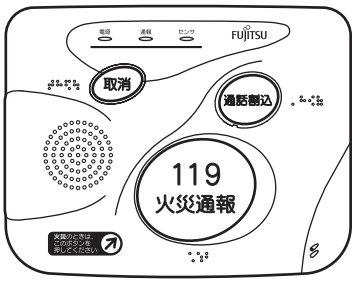
5　コンセント抜け防止金具の取り付け　・・・・・・・・・・・・・・・・ P.２６

END

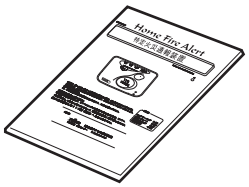
2 製品の確認

お使いになる前に、以下のものがすべて揃っているかどうか、確認して下さい。
もし、欠品等がありましたら、担当販売店にご連絡下さい。

特定火災通報装置（本体）



取扱説明書

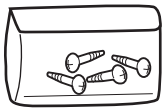


バッテリー

Ni-MH
ニッケル
水素電池

このマークは
ニッケル水素電池の
リサイクルマークです。

壁掛け用木ネジ（４本）



コンセント抜け防止金具

3 設置と接続のしかた

3．1 設置場所の決定

本製品は次の注意書きに従って設置場所を決定して下さい。

⚠ 注意	●本製品の設置について 本製品は、電波障害防止を目的とした基準（ＶＣＣＩクラスＢ）に準じていますが、ラジオ・テレビに近接して使用すると、受信障害の原因となる場合があります。 本製品の電源は、装置直出しの電源ケーブル（3m、平行2Pコンセント付）で、壁面コンセントへ接続します。 本製品への電源供給／停止は、電源コンセントの挿抜にて行います。 緊急時に速やかに装置への電源供給を停止できるよう、本製品は、壁面コンセントの近傍に設置して下さい。

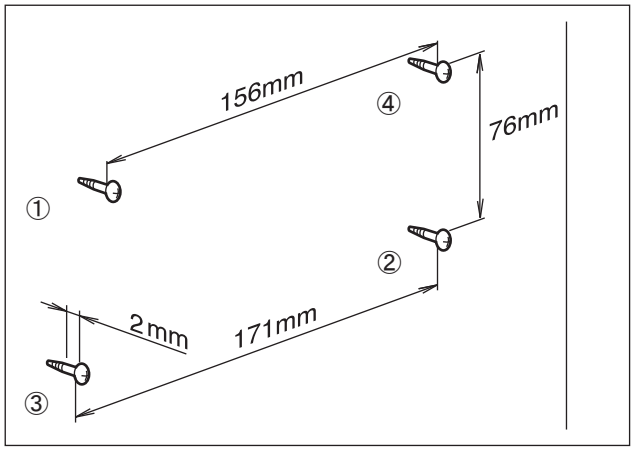
設置形態

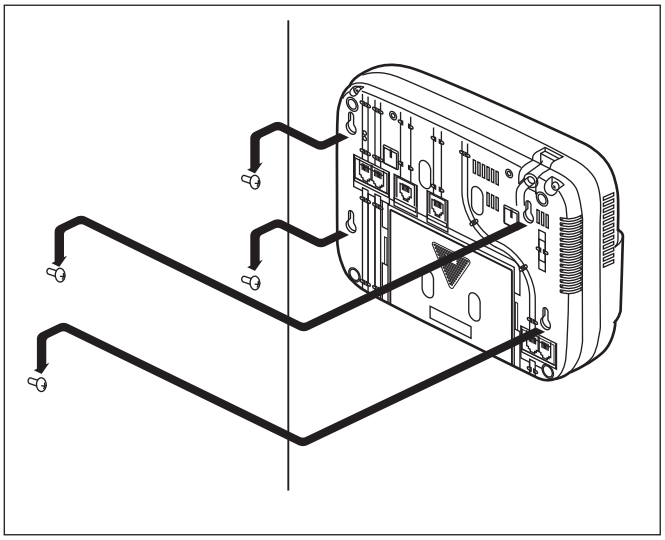
- 壁掛け（木ねじ） → ① 木ねじによる取り付け方法へ
- 壁掛け（取り付け金具） → ② 壁掛け金具による取り付け方法へ

① 木ねじによる取り付け方法

本書「第Ｖ部　８　位置決めテンプレート」を用いて、壁面取付け穴を①・②の順に位置を決めて、ネジを仮締めし、残り２箇所（③・④）をネジ止めします。その後、①・②のネジを本締めして下さい。

取付けの際は「第Ｖ部　２　設置スペース（壁掛け）」を参照して下さい。



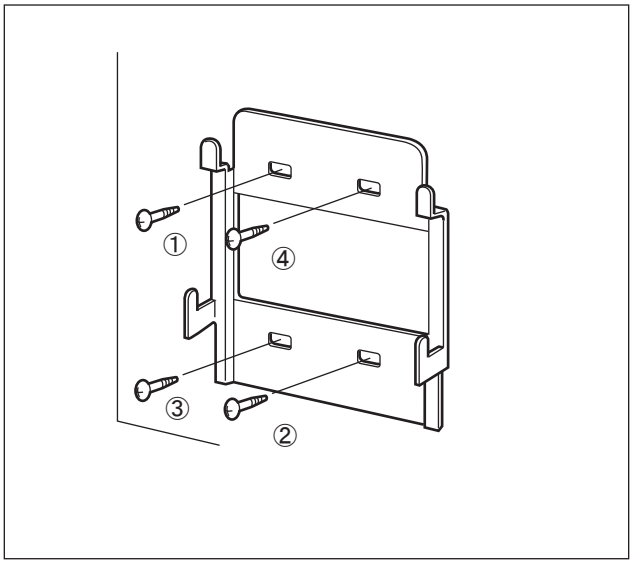


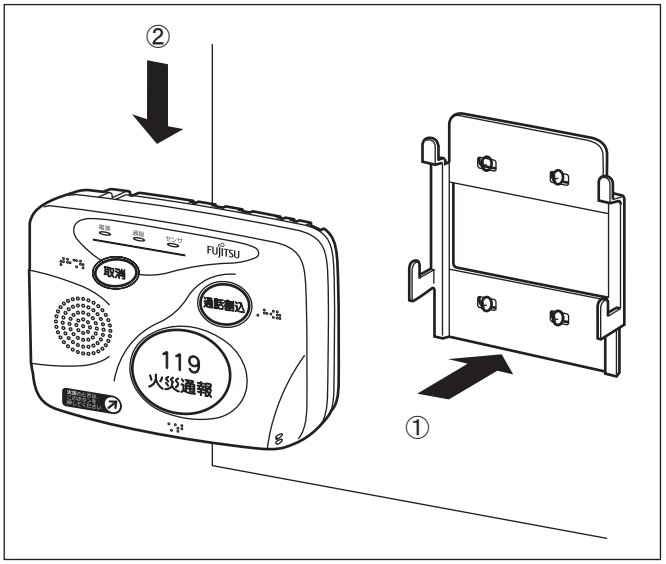
注意	●ダルマ穴のガタつきについて 装置がガタ付かないように壁取り付けネジの高さを調整して下さい。

② 壁掛け金具による取り付け方法

壁面取付け穴を①・②の順に位置を決めて、ネジを仮締めし、残り２箇所（③・④）をネジ止めします。
その後、①・②のネジを本締めして下さい。

（※壁掛け金具はオプションです。）

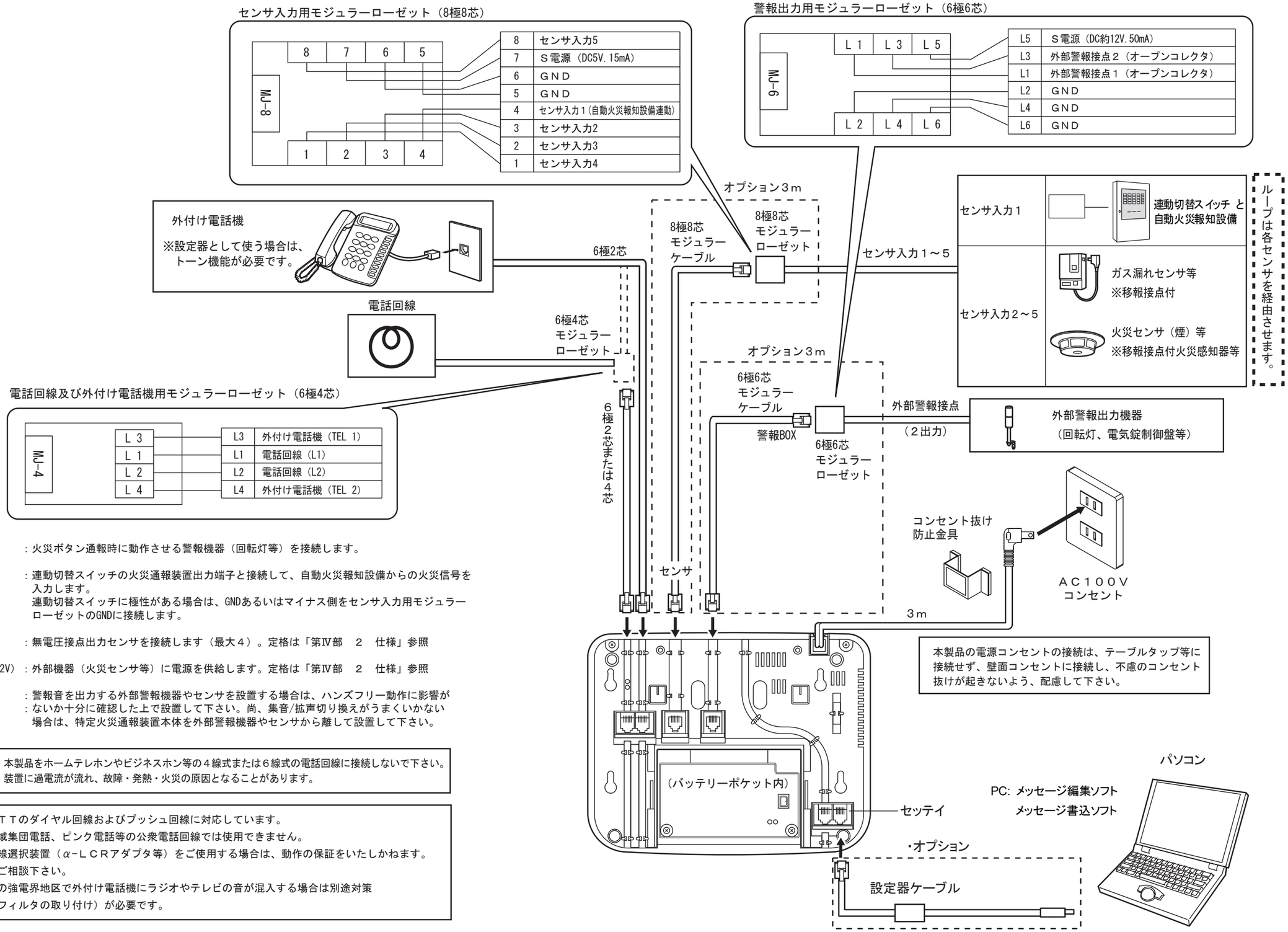




⚠ 注意	●ネジ止めについて ネジ止めが緩い場合、装置が振動等により落下して、ケガをする恐れがあります。しっかりネジ止めにて固定して下さい。 また、ベニヤ板等、強度の弱い場所には取付けしないで下さい。

→「第Ｉ部　３．２　接続（配線）のしかた」へ

３．２ 接続（配線）のしかた



外部警報接点(1,2)　：火災ボタン通報時に動作させる警報機器（回転灯等）を接続します。

センサー入力１　：連動切替スイッチの火災通報装置出力端子と接続して、自動火災報知設備からの火災信号を入力します。
連動切替スイッチに極性がある場合は、GNDあるいはマイナス側をセンサ入力用モジュラーローゼットのGNDに接続します。

センサ入力２～５　：無電圧接点出力センサを接続します（最大４）。定格は「第Ⅳ部　２　仕様」参照

Ｓ電源（DC5V、DC12V）：外部機器（火災センサ等）に電源を供給します。定格は「第Ⅳ部　２　仕様」参照

外部警報機器/
センサの設置　：警報音を出力する外部警報機器やセンサを設置する場合は、ハンズフリー動作に影響がないか十分に確認した上で設置して下さい。尚、集音/拡声切り換えがうまくいかない場合は、特定火災通報装置本体を外部警報機器やセンサから離して設置して下さい。

⚠ 注意	本製品をホームテレホンやビジネスホン等の４線式または６線式の電話回線に接続しないで下さい。装置に過電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。

・本製品は、ＮＴＴのダイヤル回線およびプッシュ回線に対応しています。
　共同電話、地域集団電話、ピンク電話等の公衆電話回線では使用できません。
・ＮＣＣ系の回線選択装置（α-ＬＣＲアダプタ等）をご使用する場合は、動作の保証をいたしかねます。
　担当販売店にご相談下さい。
・電波塔近く等の強電界地区で外付け電話機にラジオやテレビの音が混入する場合は別途対策
　（放送波除去フィルタの取り付け）が必要です。

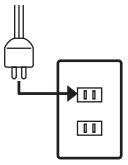
→「第Ｉ部　３．３ 設置のしかた」へ

３．３ 設置のしかた

① 接続（配線）に間違いがないか確認して下さい。

② ＡＣ１００Ｖを投入して下さい。

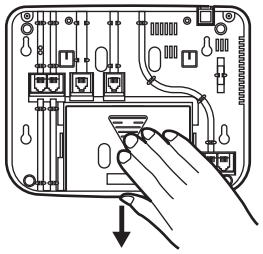
コンセントに電源プラグを接続し、ＡＣ１００Ｖを投入して下さい。
事前に動作条件を設定済みの場合、動作を開始します。
設定の変更が必要な場合は、回線を抜くか、強制取消操作
（取消ボタン１０回押下）により通報しないように注意して下さい。



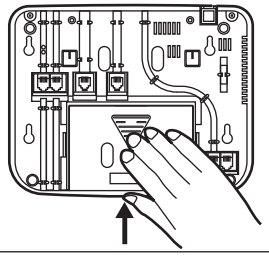
③ バッテリーをセットして下さい。

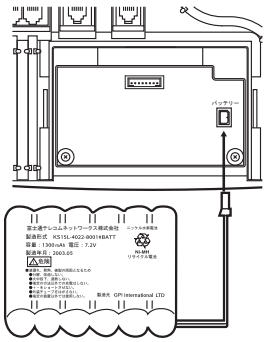
バッテリーのコードをコネクタに差し込んで下さい。

●バッテリーポケットの開けかた
バッテリーポケットの蓋を
上から下に押し下げて下さい。

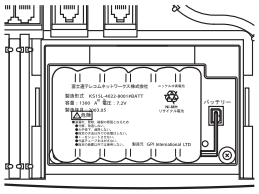


●バッテリーポケットの閉めかた
バッテリーポケットの蓋を
下から上に押し上げて下さい。



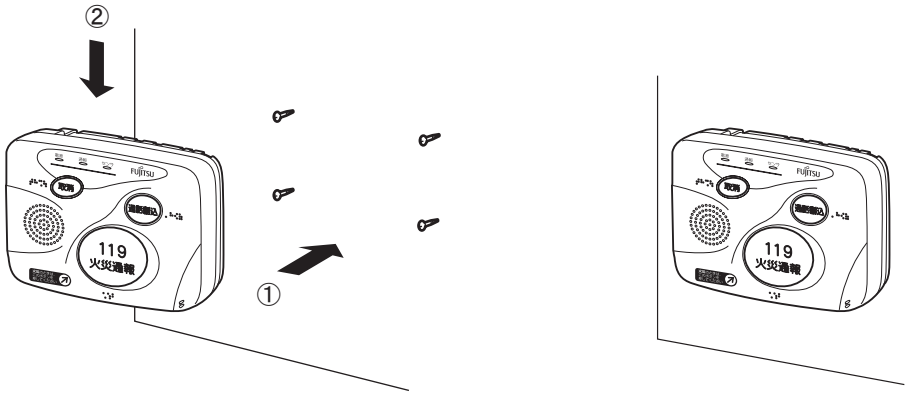


（実装状態）



⚠ 警告	●バッテリーのセットについて バッテリーをセットする際は、コネクタの向きに十分注意してセットして下さい。 コネクタの向きを間違えてセットした場合、装置が正常に動作しないばかりか、故障や火災の原因となることがあります。 ●バッテリーの取扱いについて バッテリーのパッケージは絶対に破らないで下さい。

④ 本体を設置します。



注意	●バッテリーの充電について バッテリーは放電状態（ほとんど充電されていない状態）で出荷されている為、満充電までは４８時間以上の通電が必要です。

→「第Ｉ部 ４ 設定のしかた」へ

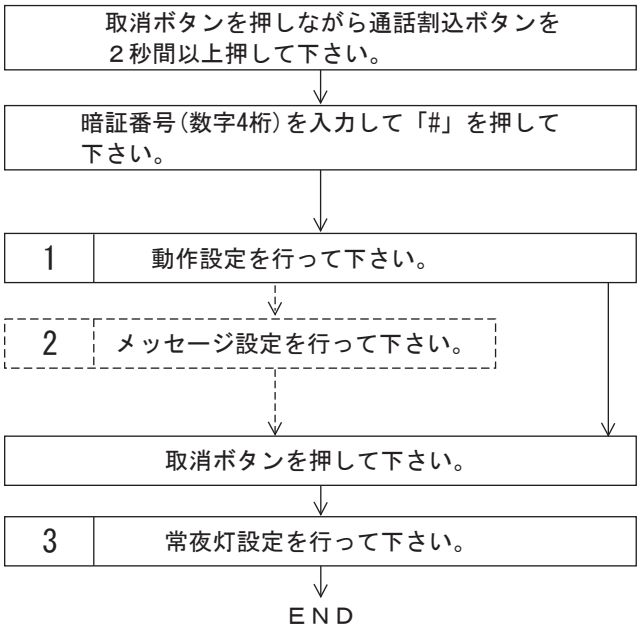
4 設定のしかた

本製品をお使いいただくには、各種の設定が必要です。設定は本製品に電話機を接続して行います。
任意メッセージの作成・編集、書込みは、メッセージ編集ソフトまたはメッセージ書込ソフトをインストールしたパソコンを接続して行います。

4．1 設定作業フロー

本製品を正しく動作させるため、新規設置時および設定変更時にかかわらず以下の手順で設定して下さい。

① 火災ボタン通報でご使用される場合　⇒ 下記フローで実線部の手順で設定して下さい。
② 自動火災報知設備連動（センサ１通報）・センサ（２～４）通報もご使用される場合
⇒ 下記フローの破線部も含めた手順で設定して下さい。



本製品を設定モードにします。
本製品が設定モードになると、通報ランプとセンサランプが点灯するので確認して下さい。
※暗証番号が違う場合は、「ピピピピ」の音の後、再度暗証番号待ちとなります。
（出荷時の暗証番号は「００００」です。）

「第Ｉ部 ４．２ 動作設定のしかた」を参照して下さい。

「第Ｉ部 ４．３ メッセージの試聴と設定のしかた」を参照して下さい。

設定モードを解除します。

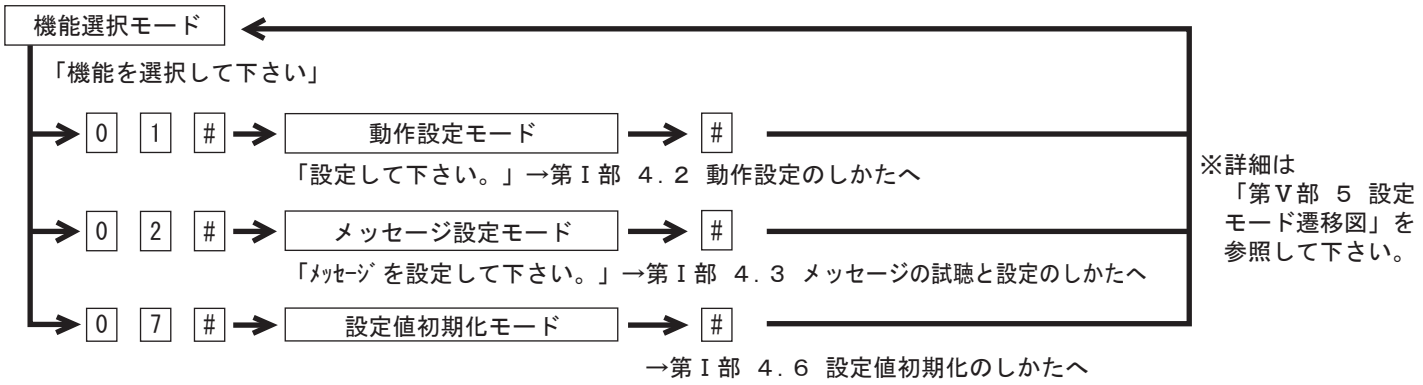
「第Ｉ部 ４．５ 常夜灯機能について」を参照して下さい。

注意	●設定モード中の電源断について 設定モード中に本製品の電源を切らないで下さい。 設定モード中に電源を切ってしまった場合は、本製品の電源を入れ、全設定初期化（「4.6 設定値初期化のしかた」を参照）を行って、最初から動作設定をやり直して下さい。 本製品の電源を入れた際に「装置故障」表示をする場合がありますが、そのまま全設定初期化を行ないますと、「装置故障」表示が消えて、正常状態に戻ります。

注意	●自動火災報知設備との連動 自動火災報知設備と連動して通報を行う場合はセンサ1接点入力方式、センサ1入力ON検出時間、センサ1入力OFF検出時間（設定番号201、202、10ページ）を設定して下さい。

注意	●設定モード移行について 設定モードに移行できない場合は、「第Ｖ部 7 トラブルシューティング」を参照して下さい。

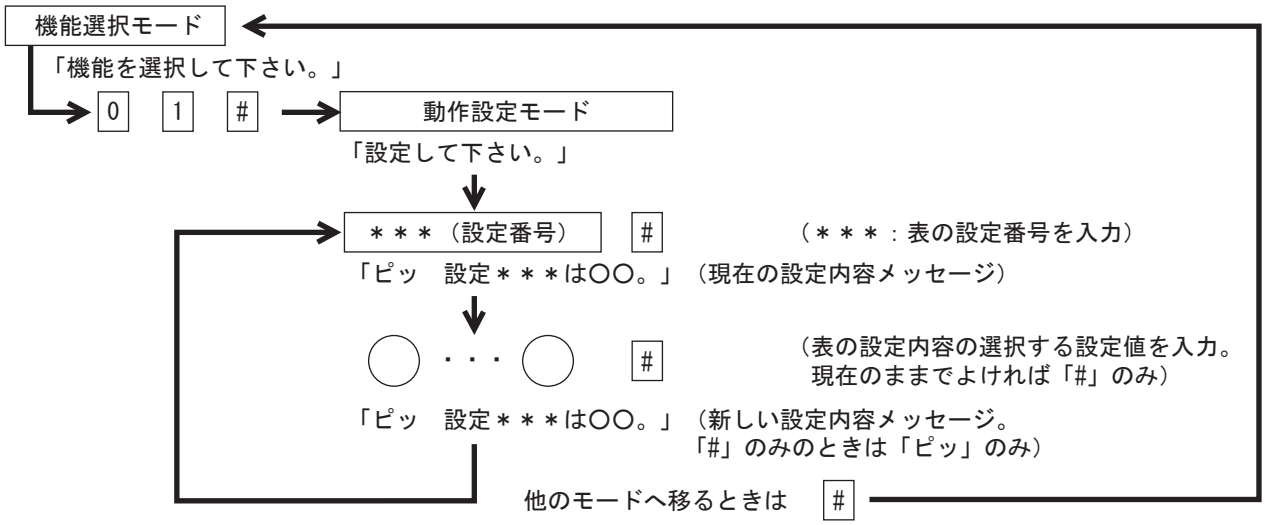
他のモードを選択したい場合



4．2 動作設定のしかた

#	：入力を設定する場合に押すキーです。
1 ～ 9	：モード、設定番号、および選択する設定値を入力するキーです。
「 ピッ 」	：入力を受付けた場合の有効音。
「ピピピピ」	：間違った入力をした場合のエラー音。

動作設定は次の手順で行います。



火災ボタンおよび自動火災報知設備連動でご使用される場合は、次ページ以降に記載された設定項目の中で下記項目のみ設定を行うだけで動作可能です。（他の項目は設定の必要がありません）

設定番号	設定名	必要性	設定番号	設定名	必要性
００１	暗証番号	△	０３０	メッセージボリューム	△
００２	端末番号	△	２０１	センサ1 接点入力方式（自動火災報知設備連動）	△
００７	ダイヤル種別	△	２０２	センサ１入力ON/ OFF 検出時間	△
００９	ダイヤル種別自動認識設定	△	５０６-５１０	火災ボタン通報先／警報接点出力設定	△
０２９	ハンズフリーボリューム	△			

△：必要に応じ設定を行う項目

動作設定のしかたの設定項目一覧表（その１）

の網掛けになっている設定番号は、本製品では設定しません。

の網掛けになっている設定番号は、デフォルト値から設定を変更せず、使用して下さい。

（動作モード）

設定番号	設定名	設定内容	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	設定値記入欄
０００	動作環境の設定確認	現在設定されている動作環境の全設定内容をメッセージで 知らせます。設定終了後、正しく設定されたかを確認して下さい。		
００１	暗証番号	電話機で設定モードにするための暗証番号です。 必要に応じ、デフォルトより変更して下さい。	0000	
００２	端末番号	本製品を識別するための番号です。定時通報、故障通報等を専用受信装置に通報するときに通報元を特定します。 ５桁（00001～99999）の範囲で設定して下さい。	00001	
００３	定時通報間隔	必ず、デフォルト（7）で設定し、使用して下さい。	7	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：（未使用） □3：（未使用） □4：（未使用） □5：（未使用） □6：（未使用） □7：30日
００４	本設定項目は設定できません。			
００５	停電通報待ち時間	本設定は、必ず、デフォルト値で使用して下さい。	30	
００６	通報確定待ち時間	火災ボタンが押されてから確定するまでの時間を00～99秒で設定します。 通常は設定の必要はありません。	00	
００７	ダイヤル種別	ご使用の電話回線の回線種別を設定します。 本製品は、ダイヤル種別を自動識別しているため、通常は設定の必要はありません。 もし、発信動作がうまくいかない場合は、本項を設定変更し、設定番号００９で、自動ダイヤル種別の識別をしないと設定することで、発信できる場合があります。 ※共同回線には対応しておりません。	1	□0：ＤＰ１０ □1：ＤＰ２０ □2：ＰＢ
００８	本設定項目は設定できません。			
００９	ダイヤル種別自動認識指定	自動でダイヤル種別を判断する場合に設定します。 通常は設定の必要はありません。 もし、発信動作がうまくいかない場合は、本項を設定変更（判断しない）し、設定番号００７で、ご使用の電話回線の回線種別を設定することで発信できる場合があります。	1	□0：しない □1：する
０１０	外部警報接点１レベル指定	外部警報出力機器を接続する場合に設定します。 外部警報接点１の出力論理を設定します。	0	□0：メーク □1：ブレーク
０１１	外部警報接点２レベル指定	外部警報出力機器を接続する場合に設定します。 外部警報接点２の出力論理を設定します。	0	□0：メーク □1：ブレーク
０１２	本設定項目は設定できません。			
０１３				
０１４				
０１５				
０１６				
０１７	リズム監視時間	必ず、デフォルト（024）で設定し、使用して下さい。	024	
０１８	メッセージ出力回数	消防機関等、通報先へのメッセージ出力繰返し回数を指定します。 通常は設定の必要はありません。	2	□1：1回 □2：2回
０１９	本設定項目は設定できません。			
０２０	本設定項目は設定できません。			
０２１	着信確認監視時間	消防機関等、通報先の応答待ち時間を032～120秒で設定します。 通常は設定の必要はありません。	032	
０２２	本設定項目は設定できません。			

（動作モード　つづき）

設定番号	設定名	設定内容	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	設定値記入欄
０２４	リズム異常復旧通知	必ず、デフォルト（0）で設定し、使用して下さい。	0：無し	□0：無し □1：有り
０２５	本設定項目は設定できません。			
０２６	強制通報動作停止有無	通報先からのプッシュ信号「＃１２」による制御（強制通報動作停止）を無効にします。 通常は設定の必要はありません。	1：有効	□0：無効 □1：有効
０２７	端末動作の強制停止有無	通報先からのプッシュ信号「＃２１」による制御（端末動作強制停止）を無効にします。 通常は設定の必要はありません。	1：有効	□0：無効 □1：有効
０２８	本設定項目は設定できません。			
０２９	ハンズフリーボリューム	ハンズフリー時のボリュームを設定します。 ※１～５の５段階設定です。（1：最小、5：最大）ハンズフリー通話中のプッシュ信号（＃４または＃６）により変更可能です。	3	□1　□2 □3　□4　□5
０３０	メッセージ・メロディボリューム	出力メッセージのボリュームを設定します。 ※１～５の５段階設定です。（1：最小、5：最大）	3	□1　□2 □3　□4　□5
０３１	本設定項目は設定できません。			
０３２				
０３３				
０３４				
０３５				
０３６				
０３７				
０３８				
０３９				
０４０				
０４１				
０４２				
０４３				
０４４				
０４５				
０４６				
０４７				
０４８				
０４９				
０５０				
０５１				
０５２				
０５３				
０５４				
０５５				
０５６				
０５７				
０５８				
０５９				
０６０				
０６１				

（センサ条件）

自動火災報知設備連動で消防機関に通報する場合、設定番号201、202の設定をします。
センサを接続して、所定の通報先（消防機関以外）にセンサ通報する場合に設定します。

設定番号	設定名	設定内容	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	設定値記入欄
２００	センサ条件の設定確認	現在設定されているセンサ条件の全設定内容をメッセージして知らせます。設定終了後、正しく設定されたかを確認して下さい。		
２０１	センサ１接点入力方式 （自動火災報知設備連動）	センサ１の入力方式を設定します。 センサ1 は自動火災報知設備との連動に使用します。 連動しない場合はデフォルト（00）で使用します。 00：監視なし 01：常時、メーク入力があると通報を行います。 02：常時、ブレーク入力があると通報を行います。	00	□00：監視無し □01：24時間監視メーク □02：24時間監視ブレーク
２０２	センサ１入力ＯＮ検出時間	００１～２５５（１００ｍｓ単位） ON/OFFペアーで6桁指定	010	
	センサ１入力ＯＦＦ検出時間	デフォルト(200)のまま使用します。	200	
２０３	センサ２接点入力方式	センサ２の入力方式を設定します。 必ず、（00）～（02）の範囲で設定し、使用して下さい。 00：監視なし 01：常時、メーク入力があると通報を行います。 02：常時、ブレーク入力があると通報を行います。 07：（未使用） 08：（未使用）	01	□00：監視無し □01：24時間監視メーク □02：24時間監視ブレーク □07：（未使用） □08：（未使用）
２０４	センサ２入力ＯＮ検出時間	００１～２５５（１００ｍｓ単位） ON/OFFペアーで6桁指定	100	
	センサ２入力ＯＦＦ検出時間		200	
２０５	センサ３接点入力方式	センサ３の入力方式を設定します。 必ず、（00）～（02）の範囲で設定し、使用して下さい。 00：監視なし 01：常時、メーク入力があると通報を行います。 02：常時、ブレーク入力があると通報を行います。 07：（未使用） 08：（未使用）	01	□00：監視無し □01：24時間監視メーク □02：24時間監視ブレーク □07：（未使用） □08：（未使用）
２０６	センサ３入力ＯＮ検出時間	００１～２５５（１００ｍｓ単位） ON/OFFペアーで6桁指定	100	
	センサ３入力ＯＦＦ検出時間		200	
２０７	センサ４接点入力方式	センサ４の入力方式を設定します。 必ず、（00）～（02）の範囲で設定し、使用して下さい。 00：監視なし 01：常時、メーク入力があると通報を行います。 02：常時、ブレーク入力があると通報を行います。 07：（未使用） 08：（未使用）	01	□00：監視無し □01：24時間監視メーク □02：24時間監視ブレーク □07：（未使用） □08：（未使用）
２０８	センサ４入力ＯＮ検出時間	００１～２５５（１００ｍｓ単位） ON/OFFペアーで6桁指定	100	
	センサ４入力ＯＦＦ検出時間		200	
２０９	センサ５接点入力方式	センサ５の入力方式を設定します。 必ず、（00）～（02）の範囲で設定し、使用して下さい。 00：監視なし 01：常時、メーク入力があると通報を行います。 02：常時、ブレーク入力があると通報を行います。 07：（未使用） 08：（未使用） 09：（未使用） 10：（未使用）	01	□00：監視無し □01：24時間監視メーク □02：24時間監視ブレーク □07：（未使用） □08：（未使用） □09：（未使用） □10：（未使用）
２１０	センサ５入力ＯＮ検出時間	００１～２５５（１００ｍｓ単位） ON/OFFペアーで6桁指定	100	
	センサ５入力ＯＦＦ検出時間		200	

（電話番号マスター）
本ページの設定項目は、消防機関以外への通報先へ通報（センサ通報、保守通報）を行う場合に各通報先の通報方式および電話番号を設定します。

設定番号	設定名		設定内容	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	設定値記入欄
３００	電話番号の設定確認		現在設定されているセンサ条件の全設定内容をメッセージして知らせます。設定終了後、正しく設定されたかを確認して下さい。		
３０１	電話番号１	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３０２		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。（119番には設定できません） ※ここで、０００と設定しますと、電話番号未設定扱いとなります。	000	
３０３	電話番号２	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３０４		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。 （119番には設定できません）	000	
３０５	電話番号３	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３０６		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。 （119番には設定できません）	000	
３０７	電話番号４	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３０８		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。 （119番には設定できません）	000	
３０９	電話番号５	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３１０		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。 （119番には設定できません）	000	
３１１	電話番号６	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３１２		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。 （119番には設定できません）	000	
３１３	電話番号７	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３１４		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。 （119番には設定できません）	000	
３１５	電話番号８	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３１６		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。 （119番には設定できません）	000	
３１７	電話番号９	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３１８		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。 （119番には設定できません）	000	
３１９	電話番号１０	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３２０		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。 （119番には設定できません）	000	
３２１	電話番号１１	通話方式	必ず、デフォルト（2）で設定し、使用して下さい。	2	□0：（未使用） □1：（未使用） □2：会話
３２２		電話番号	通報先の電話番号を16桁以内で設定します。 （119番には設定できません）	000	
３２３	本設定項目は設定できません。				
３２４					

（電話番号マスター　つづき）

本ページの設定項目は、消防機関以外への通報先へ会話通報を行う場合に設定します。

設定番号	設定名	設定内容	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	設定値記入欄
３２５	留守番電話機対応時間	相手が留守番電話機の応答か、人間による応答（プッシュ信号「＃５」）かを判別するための時間です。（設定された時間内に通報先からプッシュ信号操作が無いと、回線を開放して次通報先へ移行します。） 時間は、10～99秒で設定します。	１５秒	
３２６	電話番号１ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号１(設定番号３０１、３０２)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３２７	電話番号２ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号２(設定番号３０３、３０４)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３２８	電話番号３ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号３(設定番号３０５、３０６)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３２９	電話番号４ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号４(設定番号３０７、３０８)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３３０	電話番号５ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号５(設定番号３０９、３１０)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３３１	電話番号６ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号６(設定番号３１１，３１２)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３３２	電話番号７ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号７(設定番号３１３，３１４)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３３３	電話番号８ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号８(設定番号３１５，３１６)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３３４	電話番号９ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号９(設定番号３１７，３１８)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３３５	電話番号１０ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号１０(設定番号３１９，３２０)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３３６	電話番号１１ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ会話時間	電話番号１１(設定番号３２１，３２２)に会話通報したときのハンズフリー通話時間を01分～99分で設定します。 ※00の場合は30秒の設定となります。	２０分	
３３７	本設定項目は設定できません。			
３３８	電話番号１留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３３９	電話番号２留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３４０	電話番号３留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３４１	電話番号４留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３４２	電話番号５留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３４３	電話番号６留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３４４	電話番号７留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３４５	電話番号８留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３４６	電話番号９留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３４７	電話番号１０留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３４８	電話番号１１留守番電話対応有無	「あり」に設定すると、会話通報時に一定時間内に通報先からﾌﾟｯｼｭ信号操作が無い場合、留守番電話と判断して、次通報先へ移行します。	0：なし	□0：なし □1：あり
３４９	本設定項目は設定できません。			

動作設定のしかたの設定項目一覧表（その２）

（通報先パターン　1）
　火災ボタンまたは自動火災報知設備連動で消防機関に通報する場合、および他の通報先へ通報する場合の設定をします。
　設定番号501～505および511～515は、本製品では使用いたしません。
　設定番号506、507は、必ず確認して下さい。

設定番号	設定名			設定内容		デﾌｫﾙﾄ	設定値記入欄
５００	通報パターンの設定確認			現在設定されている通報パターンの全設定内容をメッセージで知らせます。設定終了後、正しく設定されたかを確認して下さい。			
５０１	本設定項目は設定できません。						
５０２							
５０３							
５０４							
５０５							
５０６	火災ボタン通報先	通報先数		通報先は１～４で設定して下さい。消防機関のみに通報する場合は１で設定します。消防機関以外に通報する場合は、通報先２～４の設定を行って、合計の通報先数を設定して下さい。	２桁ペアーで設定	1	
		警報接点出力指定		消防機関への火災ボタン通報に連動して外部警報出力機器を動作させる場合に設定します。 通報事象発生時の警報接点出力を設定します。 0：出力なし 1：警報接点1＝ＯＮ 2：警報接点2＝ＯＮ 3：警報接点1 と2＝ＯＮ		0	□0：無し □1：1のみ □2：2のみ □3：両方
５０７		通報先１	ループ回数	デフォルト（99）のまま使用します。 消防機関側が通話中の場合の再通報回数は99回（本通報+98回の再通報）となります。	７桁ペアーで設定	99	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	本項は、設定の必要はありません。 デフォルト（0）のまま使用して下さい。		0	
			成功時の移行先	通報先が119のみの場合は0、次の通報先の設定がある場合は、次の通報先の番号（2～4）を設定します。		0	
			失敗時の移行先	デフォルト（1）のまま使用します。		1	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	デフォルト（12）（119番通報）のまま使用します。		12	
５０８		通報先２	ループ回数	通報失敗時のループ回数を０１～９９で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	０～４（０：終了）		0	
			成功時の移行先	０～４（０：終了）		0	
			失敗時の移行先	０～４（０：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	０１～１１（119番には設定できません）		01	
５０９		通報先３	ループ回数	通報失敗時のループ回数を０１～９９で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	０～４（０：終了）		0	
			成功時の移行先	０～４（０：終了）		0	
			失敗時の移行先	０～４（０：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	０１～１１（119番には設定できません）		01	
５１０		通報先４	ループ回数	通報失敗時のループ回数を０１～９９で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	０～４（０：終了）		0	
			成功時の移行先	０～４（０：終了）		0	
			失敗時の移行先	０～４（０：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	０１～１１（119番には設定できません）		01	

（通報先パターン　2）

本ページの設定項目は、センサを接続して、所定の通報先（消防機関以外）にセンサ通報をする場合に設定します。

設定番号	設定名		設定内容		ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	設定値記入欄
５１６	センサ２通報	通報先数	0～4　0：通報無し	２桁ペアーで設定	0	
		警報接点出力指定	センサ２入力による通報に連動して外部警報出力機器を動作させる場合に設定します。 0：出力なし 1：警報接点1＝ＯＮ 2：警報接点2＝ＯＮ 3：警報接点1 と2＝ＯＮ		0	□0：無し □1：1のみ □2：2のみ □3：両方
５１７		通報先１ ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
		通報先１ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先１ 成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先１ 失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先１ 通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５１８		通報先２ ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
		通報先２ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先２ 成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先２ 失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先２ 通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５１９		通報先３ ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
		通報先３ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先３ 成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先３ 失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先３ 通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５２０		通報先４ ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
		通報先４ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先４ 成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先４ 失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先４ 通報先ﾏｽﾀｰ番号	０１～１１（119番には設定できません）		01	
５２１	センサ３通報	通報先数	0～4　0：通報無し	２桁ペアーで設定	0	
		警報接点出力指定	センサ3入力による通報に連動して外部警報出力機器を動作させる場合に設定します。 通報事象発生時の警報接点出力を設定します。 0：出力無し 1：警報接点1＝ON 2：警報接点2＝ON 3：警報接点１と2＝ON		0	□0：無し □1：1のみ □2：2のみ □3：両方
５２２		通報先１ ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
		通報先１ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先１ 成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先１ 失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先１ 通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５２３		通報先２ ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
		通報先２ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先２ 成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先２ 失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先２ 通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５２４		通報先３ ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
		通報先３ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先３ 成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先３ 失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先３ 通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５２５		通報先４ ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
		通報先４ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先４ 成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先４ 失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
		通報先４ 通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	

（通報先パターン　2）

本ページの設定項目は、センサを接続して、所定の通報先（消防機関以外）にセンサ通報する場合に設定します。

設定番号	設定名		設定内容		ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	設定値記入欄
５２６	センサ４通報	通報先数	0～4　0：通報無し	２桁ペアーで設定	0	
		警報接点出力指定	センサ4 入力による通報に連動して外部警報出力機器を動作させる場合に設定します。 0：出力なし 1：警報接点1＝ＯＮ 2：警報接点2＝ＯＮ 3：警報接点1 と2＝ＯＮ		0	□0：無し □1：1のみ □2：2のみ □3：両方
５２７		通報先１	ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５２８		通報先２	ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５２９		通報先３	ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５３０		通報先４	ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５３１	センサ５通報	通報先数	0～4　0：通報無し	２桁ペアーで設定	0	
		警報接点出力指定	センサ5 入力による通報に連動して外部警報出力機器を動作させる場合に設定します。 0：出力なし 1：警報接点1＝ＯＮ 2：警報接点2＝ＯＮ 3：警報接点1 と2＝ＯＮ。		0	□0：無し □1：1のみ □2：2のみ □3：両方
５３２		通報先１	ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５３３		通報先２	ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５３４		通報先３	ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	
５３５		通報先４	ループ回数	通報失敗時のループ回数を01～99で設定します。	７桁ペアーで設定	01	
			ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			成功時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			失敗時の移行先	0～4（0：終了）		0	
			通報先ﾏｽﾀｰ番号	01～11（119番には設定できません）		01	

（通報先パターン　3）
　本ページの設定項目は、全て、デフォルト値で使用して下さい。

設定番号	設定名		設定内容		ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	設定値記入欄
５３６	保守（自主）通報先	通報先数	必ず、デフォルト（00）で設定し、使用して下さい。	２桁ペアーで設定	00	
		警報接点出力指定				
５３７		通報先１ ループ回数	必ず、デフォルト（0100001）で設定し、使用して下さい。	７桁ペアーで設定	0100001	
		通報先１ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先				
		通報先１ 成功時の移行先				
		通報先１ 失敗時の移行先				
		通報先１ 通報先ﾏｽﾀｰ番号				
５３８		通報先２ ループ回数	必ず、デフォルト（0100001）で設定し、使用して下さい。	７桁ペアーで設定	0100001	
		通報先２ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先				
		通報先２ 成功時の移行先				
		通報先２ 失敗時の移行先				
		通報先２ 通報先ﾏｽﾀｰ番号				
５３９		通報先３ ループ回数	必ず、デフォルト（0100001）で設定し、使用して下さい。	７桁ペアーで設定	0100001	
		通報先３ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先				
		通報先３ 成功時の移行先				
		通報先３ 失敗時の移行先				
		通報先３ 通報先ﾏｽﾀｰ番号				
５４０		通報先４ ループ回数	必ず、デフォルト（0100001）で設定し、使用して下さい。	７桁ペアーで設定	0100001	
		通報先４ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先				
		通報先４ 成功時の移行先				
		通報先４ 失敗時の移行先				
		通報先４ 通報先ﾏｽﾀｰ番号				
５４１	定時通報先	通報先数	本設定は、必ず、デフォルト値で使用して下さい。	２桁ペアーで設定	00	
		警報接点出力指定	本設定は、必ず、デフォルト値で使用して下さい。			
５４２		通報先１ ループ回数	必ず、デフォルト（0100001）で設定し、使用して下さい。	７桁ペアーで設定	0100001	
		通報先１ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先				
		通報先１ 成功時の移行先				
		通報先１ 失敗時の移行先				
		通報先１ 通報先ﾏｽﾀｰ番号				
５４３		通報先２ ループ回数	必ず、デフォルト（0100001）で設定し、使用して下さい。	７桁ペアーで設定	0100001	
		通報先２ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先				
		通報先２ 成功時の移行先				
		通報先２ 失敗時の移行先				
		通報先２ 通報先ﾏｽﾀｰ番号				
５４４		通報先３ ループ回数	必ず、デフォルト（0100001）で設定し、使用して下さい。	７桁ペアーで設定	0100001	
		通報先３ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先				
		通報先３ 成功時の移行先				
		通報先３ 失敗時の移行先				
		通報先３ 通報先ﾏｽﾀｰ番号				
５４５		通報先４ ループ回数	必ず、デフォルト（0100001）で設定し、使用して下さい。	７桁ペアーで設定	0100001	
		通報先４ ﾙｰﾌﾟ満了時の移行先				
		通報先４ 成功時の移行先				
		通報先４ 失敗時の移行先				
		通報先４ 通報先ﾏｽﾀｰ番号				

（通報先パターン　4）
　本ページの設定項目は、設定不可です。

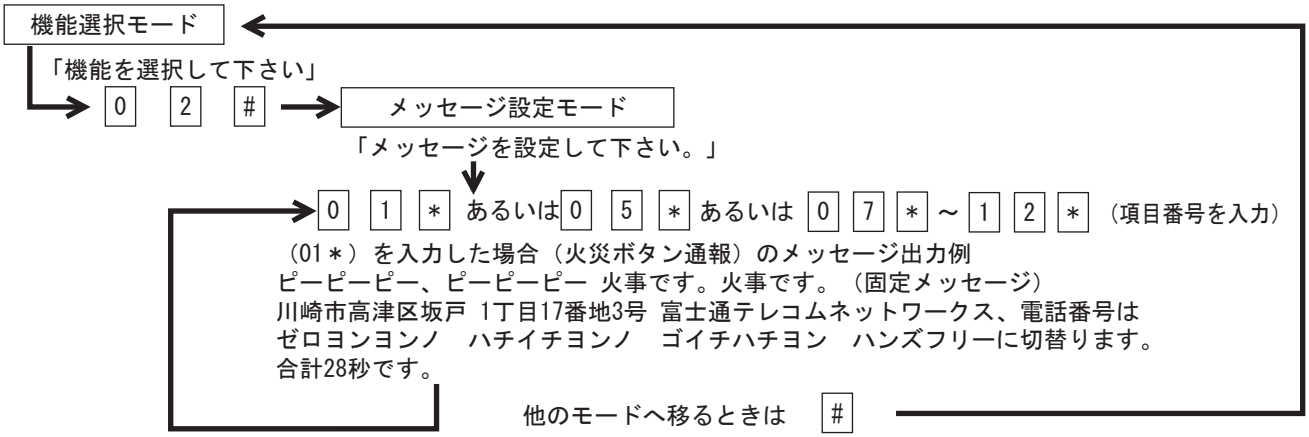
設定番号	設定名	設定内容		デ フォルト	設定値記入欄
５４６		本設定項目は設定できません。			
５４７					
５４８					
５４９					
５５０					

→「第Ｉ部　４．３　メッセージの試聴と設定のしかた」へ

４．３ メッセージの試聴と設定のしかた

４．３．１　メッセージの試聴のしかた

メッセージの試聴は以下の方法で行います。



上記の例は設定番号018（メッセージ出力回数）が１回に設定されている場合の例です。
２回に設定されている場合は、以下のように出力されます。

○設定番号018が２回に設定されている場合

ピーピーピー、ピーピーピー、火事です。火事です。
川崎市高津区坂戸　1丁目17番地3号、富士通テレコムネットワークス、
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　1回目

ピーピーピー、ピーピーピー、火事です。火事です。
川崎市高津区坂戸　1丁目17番地3号、富士通テレコムネットワークス、
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　2回目
ハンズフリーに切替ります。合計28秒です。

試聴したい通報事象の項目番号は「4.3.2　メッセージの設定のしかた」の表で確認して下さい。

①　消防機関に通報する通報事象のメッセージの試聴（項目番号01、08）

火災ボタン通報の場合、消防機関へ出力するメッセージは以下の内容になります。
- ・通報信号音（ピーピーピー、ピーピーピー）
- ・火事である旨（火事です。火事です。）
- ・防火対象物に対する情報（任意で登録ができます）
- ・消防機関と通報元（防火対象物）との会話が始まることを知らせるメッセージ
  （ハンズフリーに切替ります。）

自動火災報知設備連動（センサ１）通報の場合、消防機関へ出力するメッセージは以下の内容になります。
- ・通報信号音（ピンポーン、ピンポーン）
- ・自動火災報知設備作動による火事である旨（自動火災報知設備が作動しました。）
- ・防火対象物に対する情報（任意で登録できます）
- ・消防機関と通報元（防火対象物）との会話が始まることを知らせるメッセージ
  （ハンズフリーに切替ります。）

消防機関へ出力するメッセージは、メッセージ出力時間が30秒以内と決められています。
本製品では、メッセージを試聴すると、最後に「合計XX秒です。」とガイダンスを出力しますので、
消防機関へのメッセージ出力時間が確認できます。
なお、消防機関に通報する通報事象メッセージは、防火対象物に対する情報以外の内容変更はできません。

②　消防機関以外へ通報する通報事象のメッセージの試聴（項目番号05、07、09～12）

消防機関以外へ通報する通報事象のメッセージは、消防機関に通報する通報事象のメッセージと比較
しますと、通報信号音と会話が始まることを知らせるメッセージが出力されません。

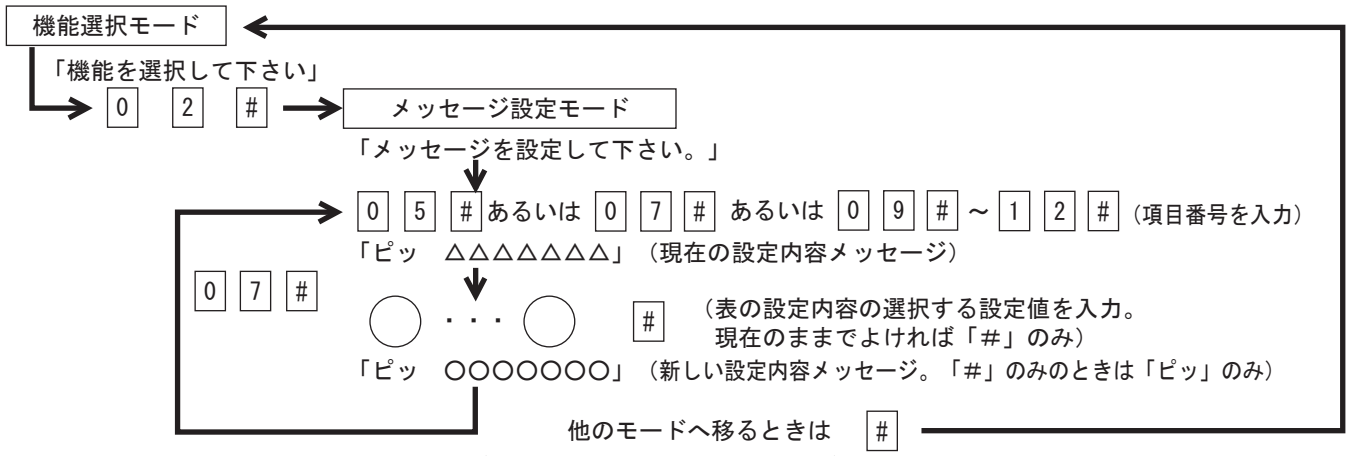
○停電通報（項目番号07）のメッセージを試聴した場合（設定番号018の設定が２回の場合）

停電発生　川崎市高津区坂戸　1丁目17番地3号、富士通テレコムネットワークス、
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　1回目

停電発生　川崎市高津区坂戸　1丁目17番地3号、富士通テレコムネットワークス、
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　2回目
合計22秒です。

４．３．２　メッセージの設定のしかた

項目番号05（バッテリエンプティ）、項目番号07（停電）、項目番号09～12（センサ2～5）の
通報事象メッセージは、以下の手順で設定することができます。
消防機関に通報する項目番号01（火災ボタン）、項目番号08（自動火災報知設備連動（センサ１））
の通報事象のメッセージは、変更できません
（詳細については「4.4　通報されるメッセージについて」もご参照下さい。）



設定例　ガス漏れセンサの例 3034# ⇒『ガス漏れ』『発生』

設定したい通報事象の項目番号は下表で確認して下さい。

項目番号	事象	デフォルト（設定値）	デフォルト（メッセージ）
００	（未使用）	（未使用）	（未使用）
０１	火災ボタン通報	５９　５９	火事です 火事です
０２	（未使用）	（未使用）	（未使用）
０３	（未使用）	（未使用）	（未使用）
０４	（未使用）	（未使用）	（未使用）
０５	バッテリーエンプティ	４２　１３　２８　３７	バッテリ/△/異常/です
０６	（未使用）	（未使用）	（未使用）
０７	停電	３８　３４	停電/発生
０８	センサ１（自動火災報知設備連動）	５８	自動火災報知設備が作動しました
０９	センサ２	５９　５９	火事です 火事です
１０	センサ３	５９　５９	火事です 火事です
１１	センサ４	３０　３４	ガス漏れ/発生
１２	センサ５	３０　３４	ガス漏れ/発生

△：100ms無音

１つの通報事象のメッセージにつき最大１０個まで選択できます。

設定番号	メッセージ	設定番号	メッセージ	設定番号	メッセージ	設定番号	メッセージ	設定番号	メッセージ
０１	１（イチ）	１８	こちらは	３５	外出	５２	すぐ来て	６８	（任意信号音2）
０２	２（ニ）	１９	メッセージを	３６	しました	５３	ﾋﾟｰﾋﾟｰﾋﾟｰX2(800Hz)	６９	（任意信号音3）
０３	３（サン）	２０	設定	３７	です	５４	ﾋﾟﾝﾎﾟｰﾝX2(1056/880Hz)	:	（未使用）
０４	４（ヨン）	２１	機能を選択	３８	停電	５５	ﾋﾟﾝﾎﾟｰﾝX2(659/532Hz)	７８	１０（ジュウ）
０５	５（ゴ）	２２	します	３９	手元ボタン	５６	ﾋﾟｰﾎﾟｰX2(941/697Hz)	７９	２０（ニジュウ）
０６	６（ロク）	２３	は	４０	ワイヤレス	５７	ﾌﾟｰ(697Hz/2.6s)	８０	３０（サンジュウ）
０７	７（ナナ）	２４	ポーズ	４１	接続	５８	自動火災報知設備が作動しました	８１	４０（ヨンジュウ）
０８	８（ハチ）	２５	しばらくお待ち	４２	バッテリ			８２	５０（ゴジュウ）
０９	９（キュウ）	２６	相談があります	４３	電話番号は	５９	火事です	８３	６０（ロクジュウ）
１０	０（ゼロ）	２７	緊急	４４	状態に入ります	６０	秒	８４	７０（ナナジュウ）
１１	ピッ	２８	異常	４５	を解除	６１	合計	８５	８０（ハチジュウ）
１２	ピー	２９	設備	４６	未登録です	６２	装置	８６	９０（キュウジュウ）
１３	無音（0.1秒）	３０	ガス漏れ	４７	ペンダント	６３	確認	８７	（未使用）
１４	無音（0.2秒）	３１	火災	４８	いってらっしゃい	６４	（任意メッセージ1）	８８	ハンズフリーに切替ります
１５	して	３２	リズム	４９	お帰りなさい	６５	（任意メッセージ2）		
１６	下さい	３３	復旧	５０	（ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄNo.）	６６	（任意メッセージ3）	８９	連絡しています お待ち下さい
１７	通報	３４	発生	５１	問題ありません	６７	（任意信号音1）		

停電通報のメッセージ（項目番号07）を変更する場合を例に説明します。

［例］メッセージをデフォルト「停電発生」から「停電発生すぐ来て下さい。」に変更する場合

・「メッセージを設定して下さい。」のガイダンスに続いて、07＃を押す。
・現在の設定内容が出力されるので、続いて、38　34　52　16＃を押す。
と、「停電　発生　すぐ来て　下さい」と設定されたメッセージが出力されます。

上記設定の後、「4.3.1　メッセージの試聴のしかた」に基づき、停電通報のメッセージの試聴を行いますと、設定番号018（メッセージ出力回数）が2回に設定されている場合は、

停電発生　すぐ来て下さい　川崎市高津区坂戸　１丁目１７番地３号
富士通テレコムネットワークス
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　1回目
停電発生　すぐ来て下さい　川崎市高津区坂戸　１丁目１７番地３号
富士通テレコムネットワークス
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　2回目
合計　ＸＸ秒です。

とメッセージが変更されたことが確認できます。

４．４ 通報されるメッセージについて

４．４．１　メッセージに関する設定項目について

メッセージに関する設定項目は消防機関に通報する通報事象（火災ボタン、自動火災報知設備連動（センサ１））と他の通報事象（バッテリエンプティ、停電、センサ2～5）によって異なります。消防機関に通報する通報事象は事象メッセージの設定が出来ませんが、他の通報事象では事象メッセージの設定ができます。

４．４．２　メッセージ出力順序について

本製品のメッセージ出力順序は事象メッセージ、任意メッセージ１、任意メッセージ２、任意メッセージ３の順序で固定されており、各通報事象に共通です。任意メッセージは、必ずしも３つ全部設定しなければならないというわけではなく、各任意メッセージは内容が設定されていなければ出力されません。

①　消防機関に通報する通報事象のメッセージ

・消防機関へ通報するため、消防庁告示、通知で指定されている通報信号音が設定されています。
・メッセージの終わりには自動で「ハンズフリーに切替ります。」とメッセージが出力されます。
・任意メッセージは最大３０秒設定できます。
　任意メッセージの作成は、任意メッセージ１～３を用いても、任意メッセージ１のみを用いても構いません。

1)　火災ボタン通報

火災ボタン通報の通報信号音は「ピーピーピー、ピーピーピー」です。
事象メッセージは「火事です。火事です。」です。
この後に、任意メッセージ１、任意メッセージ２、任意メッセージ３が続いて出力されます。

任意メッセージの設定方法は、下記のいずれの設定をしても出力されるメッセージは同じになります。

項	任意メッセージ	メッセージ内容
1	任意メッセージ1	川崎市高津区坂戸　1丁目17番地3号　富士通テレコムネットワークス
2	任意メッセージ2	（設定なし）
3	任意メッセージ3	電話番号は　044-814-5184

項	任意メッセージ	メッセージ内容
1	任意メッセージ1	川崎市高津区坂戸　1丁目17番地3号
2	任意メッセージ2	富士通テレコムネットワークス
3	任意メッセージ3	電話番号は　044-814-5184

上記のように設定されている場合、通報先（消防機関等）へは、以下のようにメッセージ出力されます。

〇設定番号018（メッセージ出力回数）が２回に設定されている場合

ピーピーピー、ピーピーピー、火事です。火事です。
川崎市高津区坂戸　１丁目１７番地３号　富士通テレコムネットワークス　　1回目
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン
ピーピーピー、ピーピーピー、火事です。火事です。
川崎市高津区坂戸　１丁目１７番地３号　富士通テレコムネットワークス　　2回目
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン
ハンズフリーに切替ります。

〇設定番号018（メッセージ出力回数）が１回に設定されている場合

ピーピーピー、ピーピーピー、火事です。火事です。
川崎市高津区坂戸　１丁目１７番地３号　富士通テレコムネットワークス
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　1回目
ハンズフリーに切替ります。

2)　自動火災報知設備連動（センサ１）通報

自動火災報知設備連動（センサ１）通報の通報信号音は「ピンポーン、ピンポーン（1056/880Hz）」です。事象メッセージは「火災報知設備が作動しました。」です。
この後に、任意メッセージ１、任意メッセージ２、任意メッセージ３が続いて出力されます。
任意メッセージが「1)火災ボタン通報」の時と同様だとしますと、通報先（消防機関等）へは、以下のようにメッセージ出力されます。

〇設定番号018（メッセージ出力回数）が２回に設定されている場合

ピンポーン、ピンポーン、自動火災報知設備が作動しました。
川崎市高津区坂戸　１丁目１７番地３号　富士通テレコムネットワークス
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　1回目
ピンポーン、ピンポーン、自動火災報知設備が作動しました。
川崎市高津区坂戸　１丁目１７番地３号　富士通テレコムネットワークス
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　2回目
ハンズフリーに切替ります。

②　他の通報事象のメッセージ

・通報信号音は出力されません。
・メッセージの終わりには自動で「ハンズフリーに切替ります。」は出力されません。
・消防機関に通報する通報事象と同様の任意メッセージが出力されます。

［例］停電通報の場合のメッセージ

任意メッセージが「①消防機関に通報する通報事象のメッセージ　1)火災ボタン通報」の時と同様だとしますと、通報先へは、以下のようにメッセージ出力されます。

〇設定番号018（メッセージ出力回数）が２回に設定されている場合

停電発生　川崎市高津区坂戸　１丁目１７番地３号　富士通テレコムネットワークス
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　1回目
停電発生　川崎市高津区坂戸　１丁目１７番地３号　富士通テレコムネットワークス
電話番号は　ゼロヨンヨンノ　ハチイチヨンノ　ゴイチハチヨン　　2回目

４．４．３　メッセージ出力時間の確認について

消防機関に通報する通報事象のメッセージは1回のメッセージが「ハンズフリーに切替ります。」を含めて30秒以内と「火災通報装置の基準」で定められています。
本製品は、メッセージの試聴（「4.3.1　メッセージの試聴のしかた」をご参照下さい）を行うことで、メッセージの出力時間が確認できます。

４．４．４　任意メッセージの作成について

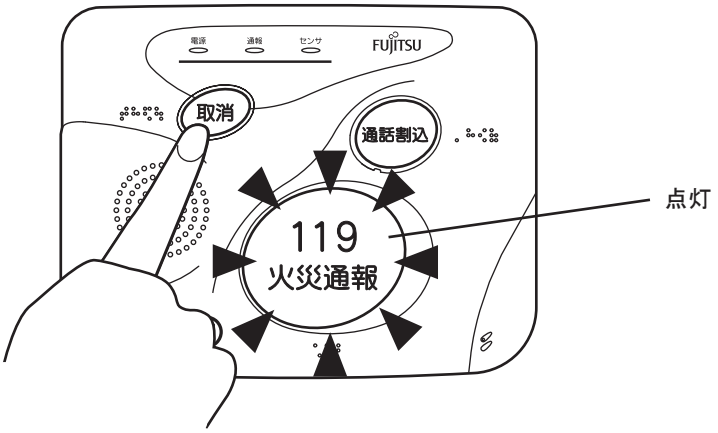
任意メッセージ１～３はメッセージ編集ソフト（TA41001-7249）を使用して作成します。
メッセージ編集ソフトでは、「火災通報装置の基準」に準拠するよう、30秒を超えるメッセージの作成ができないようになっています。
メッセージ作成の際は、自動火災報知設備連動（センサ１）通報のメッセージが30秒を超えないようにメッセージを作成して下さい。

→「第Ⅰ部　４．５　常夜灯機能について」へ

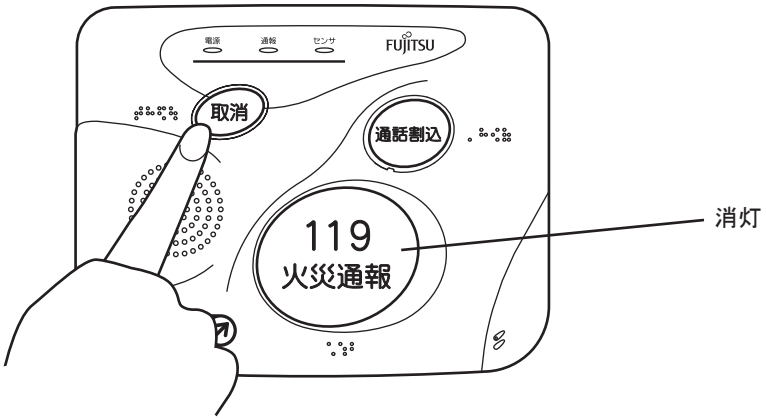
４．５ 常夜灯機能について

夜間または、停電の時に火災ボタンを点灯し、ボタンの位置をわかりやすくすることができます。
ご使用者とご相談の上、使用される場合には、ご使用者　へのご説明をお願いします。
※常夜灯の設定操作は、動作モードで可能です。（設定モードにする必要はありません）

・常夜灯機能を使用する操作：火災ボタンが消灯している時に取消ボタンを３秒間以上押すことにより、
火災ボタンが点灯し常夜灯機能が有効になります。



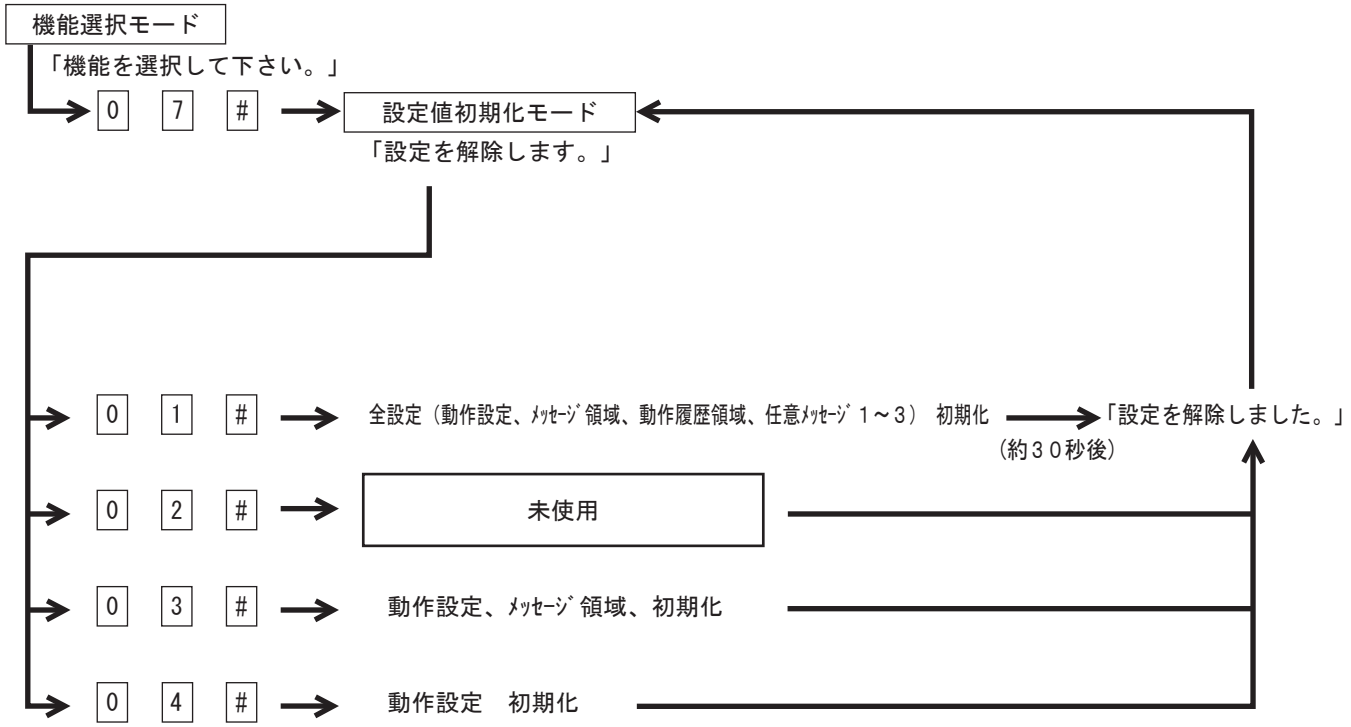
・常夜灯機能を停止する操作：火災ボタンが点灯している時に取消ボタンを３秒間以上押すことにより、
火災ボタンが消灯し常夜灯機能が無効になります。



→「第Ｉ部 ４．６ 設定値初期化のしかた」へ

４．６ 設定値初期化のしかた

登録されている設定値を初期値に戻します。



※メッセージ領域：「4.3 メッセージの試聴と設定のしかた」で設定した事象別メッセージの内容です。

・プッシュ信号と初期化内容

		初期化項目			
		動作設定領域	メッセージ領域	動作履歴領域	任意メッセージ１～３
プッシュ信号	０１＃	初期化	初期化	消去	消去
	０３＃	初期化	初期化	保持	保持
	０４＃	初期化	保持	保持	保持

「初期化」は設定値をデフォルト値に戻します。
「消去」は設定値を消去します。
「保持」は現在値をそのまま保持します。

注意	01＃で初期化し、「設定を解除しました。」のメッセージの後に取消ボタンを押すと、監視機能、通報機能の全てが停止し、電源ランプを除く全てのランプが同時に点灯します。 復旧するには火災ボタンを押します。電源ランプが点灯し、他のランプは消灯します。

注意	●初期化実行中の電源断について 初期化中は、初期化が終了するまで本製品の電源を切らないで下さい。装置故障の恐れがあります。 初期化中に電源を切ってしまった場合は、本製品の電源を入れて、再度設定値の初期化をして下さい。 本製品の電源を入れた際に「装置故障」表示をする場合がありますが、そのまま設定値の初期化を行ないますと、「装置故障」表示が消えて、正常状態に戻ります。 「装置故障」表示が消えない場合は、装置交換が必要です。

注意	●初期化実行中の操作について 初期化中は、初期化が終了するまで外付け電話機や取消ボタンを操作しないで下さい。 初期化が終了しなくなる恐れがあります。初期化が終了しない場合は、本製品の電源を入れ直して下さい。

→「第Ｉ部 ５ 動作確認のしかた」へ

５ 動作確認のしかた

設置／接続および設定が終わったら、正しく動作するかを以下の手順で確認し、「第Ⅴ部 ３ 設置工事チェックシート」にチェックして下さい。

５．１ 火災ボタンによる通報を行う場合

本製品は、通報試験機を接続することにより、電話回線を使用せずに動作確認を行うことが可能です。
(財)日本消防設備安全センター適合認定品の「火災通報装置用試験装置」を使用して、以下の手順で通報試験を行います。本作業を行うに当たっては、火災通報装置用試験装置の取扱説明書も併せてご覧下さい。

① 火災ボタン通報の確認をして下さい。

（１）本製品に接続されている電話回線（本体背面のＬＩＮＥに接続）を外し、試験装置からのモジュラーを接続して下さい。

（２）消防機関（１１９番）側電話機を試験装置に接続して下さい。

（３）火災ボタンを押すと、本製品と消防機関（１１９番）側電話機の間で、火災ボタン通報試験を行うことができます。ダイヤル番号は、試験装置の［ダイヤル表示用ＬＣＤ］に表示されます。

（４）消防機関（１１９番）側電話機の受話器をとると、本製品からメッセージが送出され、ハンズフリー状態となります。
この際、ご使用者に立ち会っていただきスピーカ音量の調整も行って下さい。
スピーカ音量の設定は設定モードで行います。（火災ボタン押下時にスピーカから出力されるメッセージの音量は設定項目０３０、ハンズフリーボリュームは設定項目０２９）
ハンズフリーボリュームは、ハンズフリー中に消防機関（１１９番）側電話機からプッシュ信号（＃４：音量ダウン、＃６：音量アップ）で調節できます。

（５）通報試験を終了する場合は、消防機関（１１９番）側電話機をオンフックして下さい。

（６）試験装置からのモジュラーを外し、本製品に電話回線を接続します。

② 停電動作を確認して下さい。

電源プラグを抜くか、以下の停電動作の確認機能により停電動作の確認を行って下さい。

（１）特定火災通報装置を設定モードにします。

取消ボタンを押しながら通話割込ボタンを２秒間以上押します。
設定可能状態になると「ピ」と音がし、通報ランプとセンサランプが点灯しますので確認して下さい。

（２）擬似停電状態とします。

通話割込ボタンを押しながら火災ボタンを２秒間以上押します。
操作が受け付けられれば「ピ」と音がし、停電状態となります。
停電状態になると電源ランプがゆっくり点滅します。

（３）擬似停電状態を解除します。

通話割込ボタンを押しながら火災ボタンを２秒間以上押します。
操作が受け付けられれば「ピ」と音がし、停電状態は解除されます。
停電状態が解除されると、電源ランプが点灯します。
電源ランプが消灯したままの場合は、バッテリーの接続および充電（１０分以上）を確認し、
再度停電動作を確認して下さい。

（４）取消ボタンを押し、特定火災通報装置を動作状態にします。

注意	●停電動作の確認をする前に 停電動作をさせるためには最低１０分以上の充電（ＡＣ１００Ｖ通電）が必要です。

５．２ 自動火災報知設備による通報を行う場合

① 自動火災報知設備連動通報の確認をして下さい。

（１）本製品に接続されている電話回線（本体背面のＬＩＮＥに接続）を外し、試験装置からのモジュラーを接続して下さい。

（２）消防機関（１１９番）側電話機を試験装置に接続して下さい。

（３）連動切替スイッチの自火報接続接点を短絡させると本製品と消防機関（１１９番）側電話機の間で自動火災報知設備連動通報試験を行うことが出来ます。ダイヤル番号は、試験装置の「ダイヤル表示用ＬＣＤ」に表示されます。

（４）消防機関（１１９番）側電話機の受話器をとると、本製品からメッセージが送出され、ハンズフリー状態となります。

（５）通報試験を終了する場合は、消防機関（１１９番）側電話機をオンフックして下さい。

（６）試験装置からモジュラーを外し、本製品に電話回線を接続します。

注意	●確認作業終了前に確認 試験終了後は、試験前に本製品に接続されていた電話回線を必ず接続するようにして下さい。 接続しませんと、本製品が正常に動作できなくなります。

５．３ その他の通報も行う場合

① ５．１ ①、②項の確認をして下さい。

② 自動火災報知設備による通報を行う場合は、５． ２項の確認をして下さい。

③ 各種試験通報およびハンズフリー会話の確認をして下さい。

各通報先へ試験通報を始める旨を連絡した後、以下の項目の試験通報を行い、設定した内容通りに動作するか確認して下さい。

・センサ２～５通報

④ 外部警報機器の動作確認をして下さい。

外部警報機器（回転灯等）が「第Ｉ部 ４．２ 動作設定のしかた」で設定した内容通りに動作するか確認して下さい。

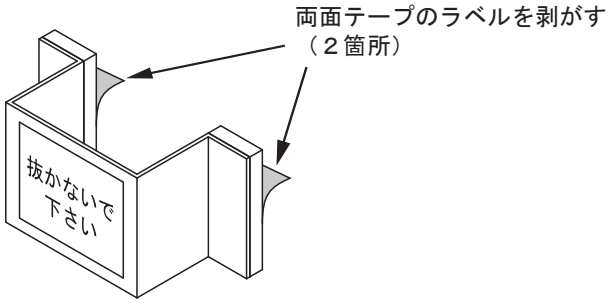
注意	●センサ２～５通報について 本製品は、センサの通報先を消防機関（119番以外）とすることができますが、予め消防機関の了承を得てから運用して下さい。

→「第Ｉ部 ６ コンセント抜け防止金具の取り付け」へ

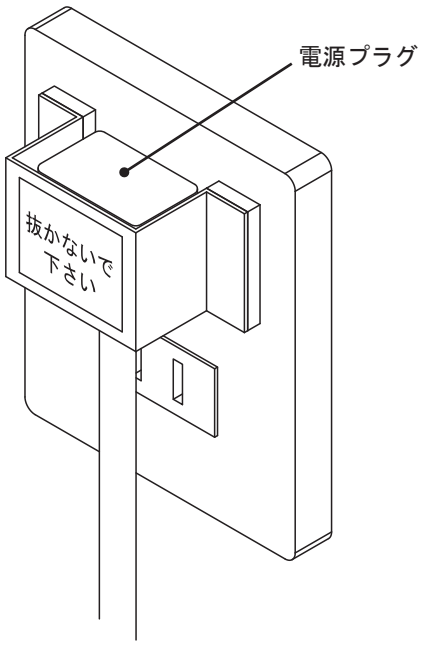
6 コンセント抜け防止金具の取り付け

設置／接続、設定、動作確認が終わったら、設置工事の最後の作業として、コンセント抜け防止金具を設置します。

① コンセント抜け防止金具の両面テープのラベルを剥がし、接着面を露出させます。（２箇所）



② 本製品の電源プラグを接続したコンセントの上部にかぶせるように、コンセント抜け防止金具をしっかり取り付けます。



注意	●コンセント抜け防止金具の取り付けについて ・貼り付け面のホコリ、油、水分などはきれいに拭き取ってからご使用下さい。 ・しっかり押さえて貼り付けて下さい。押さえが不十分だと剥がれる場合があります。

以上で本製品の設置工事は終了です。

第Ⅱ部　メンテナンス

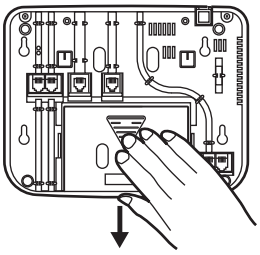
1 バッテリー交換のしかた

バッテリーは、専用バッテリーを使用しています。（KS15L-4022-B001#BATT）

⚠ 警告	●バッテリーのセットについて バッテリーをセットする際は、コネクタの向きに充分注意してセットして下さい。 コネクタの向きを間違えてセットした場合、装置が正常に動作しないばかりか、故障や火災の原因となることがあります。

⚠ 注意	●バッテリーの交換について 特定火災通報装置本体にＡＣ１００Ｖが投入されている状態で、バッテリーの交換作業を行って下さい。
⚠ 注意	●バッテリーの交換時期について バッテリーは３年ごとに交換する必要がありますが、安全をみて２年半程度で交換して下さい。 定期的に交換しない場合、停電保証ができなくなり、事故の原因となります。 また、使用環境によっては、交換時期前に寿命がくる場合があります。

① 古くなったバッテリーを取出して下さい。



バッテリーのリサイクルについて

・ご使用済みのニッケル水素電池は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで、ニッケル水素電池のリサイクル協力店へお持ち下さい。

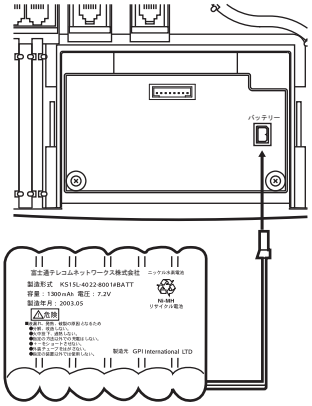
＊ニッケル水素電池のリサイクル協力店：
一般消費者が使用済みニッケル水素電池を届ける窓口です。社団法人 電池工業会に協賛している店で、店頭には「当店は、充電式電池のリサイクルに協力しています。」というステッカーが貼られています。

② コネクタの向きを確認し、新しいバッテリーを入れて下さい。

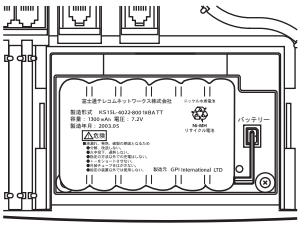
電池仕様
- 電池名称：ニッケル水素電池
- 電　　圧：ＤＣ7.2Ｖ
- 容　　量：1300ｍＡｈ

ニッケル
水素電池

ニッケル水素電池は
リサイクルへ



（実装状態）



③ バッテリーポケットを閉めて下さい。
詳しくは、「第Ⅰ部 ３．３ 設置のしかた」の③項を参照して下さい。

🚫 禁止	●バッテリーの取扱いについて－１ バッテリーを火中に投じると爆発する危険があります。絶対に行わないで下さい。
🚫 禁止	●バッテリーの取扱いについて－２ バッテリーを分解すると電解液（強アルカリ性）が漏れますので、非常に危険です。絶対に行わないで下さい。

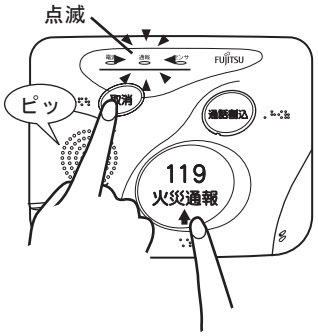
④ 動作確認をして下さい。（必ず実施して下さい！）
手順は、「第Ⅰ部 ５ 動作確認のしかた」を参照して下さい。

２ 定期メンテナンスを便利にするための機能

２．１ 外部警報停止機能

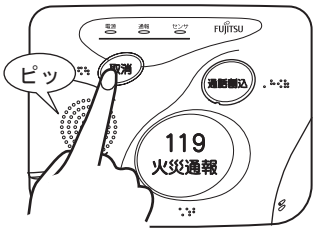
外部警報出力機器を接続している場合、定期メンテナンス時に近隣者が真報と勘違いするのを防ぐために、
外部警報出力を一定時間（３０分間）停止することが出来ます。（通報は行います。）

① 取消ボタンを押しながら火災ボタンを押して下さい。（２秒以上）
「ピッ」と鳴って、センサランプが点滅します。これで以下の通報を行っても外部への警報は出ない
状態となります。



② 各センサの動作および通報動作の確認をして下さい。

③ 定期メンテナンスが終了したら、取消ボタンを押して下さい。
「ピッ」と鳴って、センサランプが消灯に切替わり、通常状態に戻ります。



注意	センサランプが消灯するのは、感知しなくなってからセンサ入力ＯＦＦ検出時間経過後です。 しばらく待っても消灯しない場合には、センサが感知する事態が起きていないか確認して下さい。

２．２ 停電動作確認機能

電源プラグを抜くか、以下の停電動作の確認機能により停電動作の確認を行って下さい。

① 特定火災通報装置を設定モードにします。
取消ボタンを押しながら通話割込ボタンを２秒間以上押します。
設定可能状態になると「ピッ」と音がし、通報ランプとセンサランプが点灯しますので確認して下さい。

② 停電状態とします。
通話割込ボタンを押しながら火災ボタンを２秒間以上押します。
操作が受け付けられれば「ピッ」と音がし、停電状態となります。
停電状態になると電源ランプがゆっくり点滅します。

③ 停電状態を解除します。
通話割込ボタンを押しながら火災ボタンを２秒間以上押します。
操作が受け付けられれば「ピッ」と音がし、停電状態は解除されます。
停電状態が解除されると、電源ランプが点灯します。

④ 特定火災通報装置を動作状態にします。
取消ボタンを押します。

２．３ 遠隔操作の機能

本製品は、ハンズフリーの会話中に、通報先からのプッシュ信号送信で、装置動作を制御することができます。
制御の内容は､以下の通りです。

プッシュ信号		制御機能名	制御内容	
#709	*#709	通話開始	通話開始指示。このコードを受信するとメッセージが出力し、会話状態となります。	
#790	*#790	通話終了	その通報先への通報を終了します。次の通報先があれば、通報動作に入ります。	
#8	*#8	メッセージ再送	会話通報先に送信したメッセージを１回再送出します。	
#90	*#90	外部警報接点ＯＮ	外部警報接点１及び２をＯＮします。	メーク接点指定の場合は、外部警報接点をメークします。 ﾌﾞﾚｰｸ接点指定の場合は、外部警報接点をﾌﾞﾚｰｸします。
#91	*#91		外部警報接点１をＯＮします。	
#92	*#92		外部警報接点２をＯＮします。	
#00	*#00	外部警報接点ＯＦＦ	外部警報接点１及び２をＯＦＦします。	メーク接点指定の場合は、外部警報接点をﾌﾞﾚｰｸします。 ﾌﾞﾚｰｸ接点指定の場合は、外部警報接点をメークします。
#01	*#01		外部警報接点１をＯＦＦします。	
#02	*#02		外部警報接点２をＯＦＦします。	
*#2	**#2	拡声切替え	特定火災通報装置でのマイクを停止し、通報先からの応答のみをｽﾋﾟｰｶｰに出力する状態となります。	
*#1	**#1	ハンズフリー切替え	特定火災通報装置と通報先の双方で会話可能となります。(会話通報先との会話開始時は、この状態です。)	
#12	*#12	通報動作強制停止(破棄)	現在の通報動作を強制的に終了します。(次の通報先への通報も行いません。)	
#21	*#21	端末動作の強制停止 ⚠ 操作注意	監視機能および通報機能のすべてを停止させます。装置の機能を監視状態へ復帰させるには、火災ボタンを押して下さい。	
#3	*#3	外付け電話機←→ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話切替え	通話制御を 外付け電話機 → ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ、または ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ → 外付け電話機 へ切替えます。	
#5	*#5	留守番電話機対応、人応答および ハンズフリー延長	留守番電話機対応時、メッセージ出力後に入力することで会話時間指定で設定した時間、会話可能となります。また、ハンズフリー中に入力することで会話時間を延長します。	
#4	*#4	ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰﾎﾞﾘｭｰﾑﾀﾞｳﾝ	ハンズフリーボリュームを１段階ダウンします。	
#6	*#6	ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰﾎﾞﾘｭｰﾑｱｯﾌﾟ	ハンズフリーボリュームを１段階アップします。	

※ご使用の回線がダイヤル回線の場合は、[*] キーを押してからプッシュキーを押して下さい。
（ご使用の電話機により [*] キーを押してもプッシュ信号に切替わらない場合があります。）

３ 消防用設備としての保守点検

特定火災通報装置は、いざというときに正しく動作させるために、定期保守点検が必要です。

３．１ 保守に必要な資格

本製品の保守点検を行う実施者には、甲種第４類消防設備士資格、乙種第４類消防設備士資格、あるいは第２種消防設備点検資格者資格が必要です。

３．２ 定期保守点検の義務

本製品の設置が義務付けられている特定防火対象物では、万一火災が発生した場合、正常に動作させるために、以下の定期点検が消防法で定められておりますので、必ず行って下さい。
また、１年に１回、所轄の消防署に報告することが義務づけられておりますので、必ず行って下さい。

点検の種類	内容	定期点検間隔
機器点検	消防用設備等の機器の適正な配置、損傷等の有無、その他主として外観から判別できる事項を消防用設備等の種類等に応じ、別に告示で定める基準に従い確認する。 消防用設備等の機器の機能について、外観から又は簡易な操作により判別できる事項を消防用設備等の種類等に応じ、別に告示で定める基準に従い確認する。	６ヶ月

注意	●定期保守点検について 定期保守点検時に装置の異常がありましたら、施工店、または販売店にご連絡下さい。

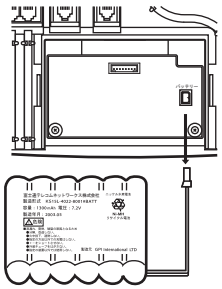
第Ⅲ部　装置の撤去

１　撤去のしかた

ご都合により、特定火災通報装置のご使用を止めるときは、以下の手順で撤去作業をして下さい。

① 「第Ｉ部　４．１　設定作業フロー」「第Ｉ部　４．６　設定値初期化のしかた」を参照し、「全設定初期化」を　行って下さい。

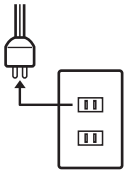
② バッテリーを取出して下さい。



Ni-MH
ニッケル
水素電池

ニッケル水素電池は
リサイクルへ

③ ＡＣ１００Ｖの供給を止めて下さい。
コンセントプラグを外して下さい。



④ 外部機器を外し特定火災通報装置本体を撤去して下さい。

注意	●消防機関への連絡 本製品を撤去したときは、消防機関へ連絡をお願いします。

第Ⅳ部　その他

１　工事に必要な工具類

１．１　必要工具

項	品名	型名	備考
１	電話機 ※ＰＢ信号、またはトーン 信号を出力できるもの		本製品の動作設定用
２	Ｍ３（＋）ドライバ	強力貫通ドライバ　100-3　イイダ（株）	参考品：先端マグネット
３	ラジオペンチ	ロングニードルプライヤー　M-09　イイダ（株）	参考品：先端
４	モジュラー圧着工具	３５７５－６００７　ＤＤＫ（株）	参考品：モジュラーケーブル とプラグの圧着用
５	ニッパ	強力ニッパ　205-175　イイダ（株）	参考品
６	精密ドライバ（＋／－）	精密ドライバ　2078　イイダ（株）	参考品

１．２　必要部材

項	品名	型名	備考
１	６極２芯モジュラーローゼット	ＷＮＴ３５２３Ｋ　ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ電工（株）	参考品 電話回線、外付け電話機 配線用
２	６極２芯モジュラープラグ	２８５Ｄ－１６２０Ｐ－１０２　ＤＤＫ（株）	
３	６極２芯モジュラー平型コード	モジュラー平型コード２芯　（株）ｶﾒﾀﾞﾃﾞﾝｷ	
４	６極４芯モジュラーローゼット	ＷＮＴ３５４３Ｋ　ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ電工（株）	参考品 電話回線、外付け電話機 配線用
５	６極４芯モジュラープラグ	２８５Ｄ－１６４０Ｐ－１０４　ＤＤＫ（株）	
６	６極４芯モジュラー平型コード	モジュラー平型コード４芯　（株）ｶﾒﾀﾞﾃﾞﾝｷ	
７	６極６芯モジュラープラグ	２８５Ｄ－１６６０Ｐ－１０６　ＤＤＫ（株）	参考品 警報出力配線用
８	６極６芯モジュラー平型コード	モジュラー平型コード６芯　（株）ｶﾒﾀﾞﾃﾞﾝｷ	
９	８極８芯モジュラープラグ	２８５Ｄ－１６６０Ｐ－１０８　ＤＤＫ（株）	参考品 センサ入力配線用
１０	８極８芯モジュラー平型コード	モジュラー平型コード８芯　（株）ｶﾒﾀﾞﾃﾞﾝｷ	
１１	φ０．４～φ０．６５単線		センサ入力、警報出力配線用
１２	ビニールテープ		ケーブル切断部の絶縁用

１．３　オプション／消耗品

項	品名	型名	備考
１	警報ＢＯＸ	KS15L-4009-B001#KEIHOBOX	外部警報出力機器を接続する場合、 各種センサを接続し、DC12V電源を供給する場合 モジュラーローゼット＋ケーブル６極６芯：３ｍ
２	センサＢＯＸ	KS15L-4009-B001#SENSABOX	自動火災報知設備連動、センサ入力による通報を する場合、 当社指定煙センサを接続し、DC5V電源を供給する場合 モジュラーローゼット＋ケーブル８極８芯：３ｍ
３	バッテリー	KS15L-4022-B001#BATT	２．５年～３年毎に交換
４	壁掛け金具	KS15L-4010-B001#KABEKAKE	
５	コンセント抜け防止金具	TA32004-E105	本製品に１個添付

２ 仕様

・基本仕様（特定火災通報装置基本仕様）

項目	仕様	備考
種別	特定火災通報装置	
型名	ＨＦＡ２００	
型式番号	(財)日本消防設備安全センター認定型式番号　特定火通－００２号 (財)電気通信端末機器審査協会　技術基準適合認定　Ａ１０－０３３８００１	
温度	動作時0～40℃　　保存時-10～50℃	
湿度	動作時30～90%　　保存時30～90%	結露なきこと
入力電源	AC100V±10%　　50/60Hz	
消費電力	待機時5VA、動作時14VA（最大負荷時）	
予備電源	電池名称：バッテリー　電圧：7.2V　容量：1300mAh（ニッケル水素電池）※	
伝導／輻射雑音	ＶＣＣＩ　クラスＢ	
停電保証時間	1時間の停電継続後に10分以上の動作が可能	
適用回線	NTT加入電話（アナログ）回線、ADSL回線　※※ ダイヤル種別（10PPS/20PPS/プッシュ）、20PPS/プッシュ切換えは自動判別　※※※	
接続回線数	1回線	
直流抵抗値	219Ω	
静電容量	0.5μF（インピーダンス：31ｋΩ）	
設置条件	壁掛け	
外形寸法	縦165×横210×高48mm	
装置質量	約0.8kg	
蓄積音声情報	火災の場合 ピーピーピー、ピーピーピー、火事です。火事です。（固定メッセージ）防火対象物の所在地、建物名及び電話番号等（任意メッセージ）を２回繰返し、ハンズフリーに切替ります。とメッセージが流れ、ハンズフリーに切替ります。 自動火災報知設備連動の場合 ピンポーン、ピンポーン、自動火災報知設備が作動しました。（固定メッセージ）防火対象物の所在地、建物名及び電話番号等（任意メッセージ）を２回繰返し、ハンズフリーに切替ります。とメッセージが流れ、ハンズフリーに切替ります。	固定メッセージ、任意メッセージ１回と「ハンズフリーに切替ります。」の合計の長さは30秒以内です。
自火報設備との連動	連動	
警報出力（ｵｰﾌﾟﾝｺﾚｸﾀ）	2出力（最大定格　DC 24V　250mA）	抵抗負荷

※　　本製品は、外部に非常電源装置を設置することを必須としません。

※※　ADSL回線に本製品を接続する場合、ADSLモデムの外部にスプリッタを設けて、接続して下さい。
（ADSLモデムの電話機接続口には、本製品を接続しないで下さい）
本製品は、ISDN回線やIP電話回線に接続して使用することはできません。
ISDN回線については、ターミナルアダプタを経由して接続することも保証いたしかねますので、お止め下さい。
本製品を内線、あるいは４線式または６線式の電話回線（ホームテレホンやビジネスホン等）に接続しないで下さい。

※※※　回線種別の自動切換えは、20PPS設定時はプッシュへ、プッシュ設定時は20PPSへ自動的に切換えます。
自動切換えにて判別できない場合は、自動的に切換え前の種別にてダイヤルします。

・その他仕様

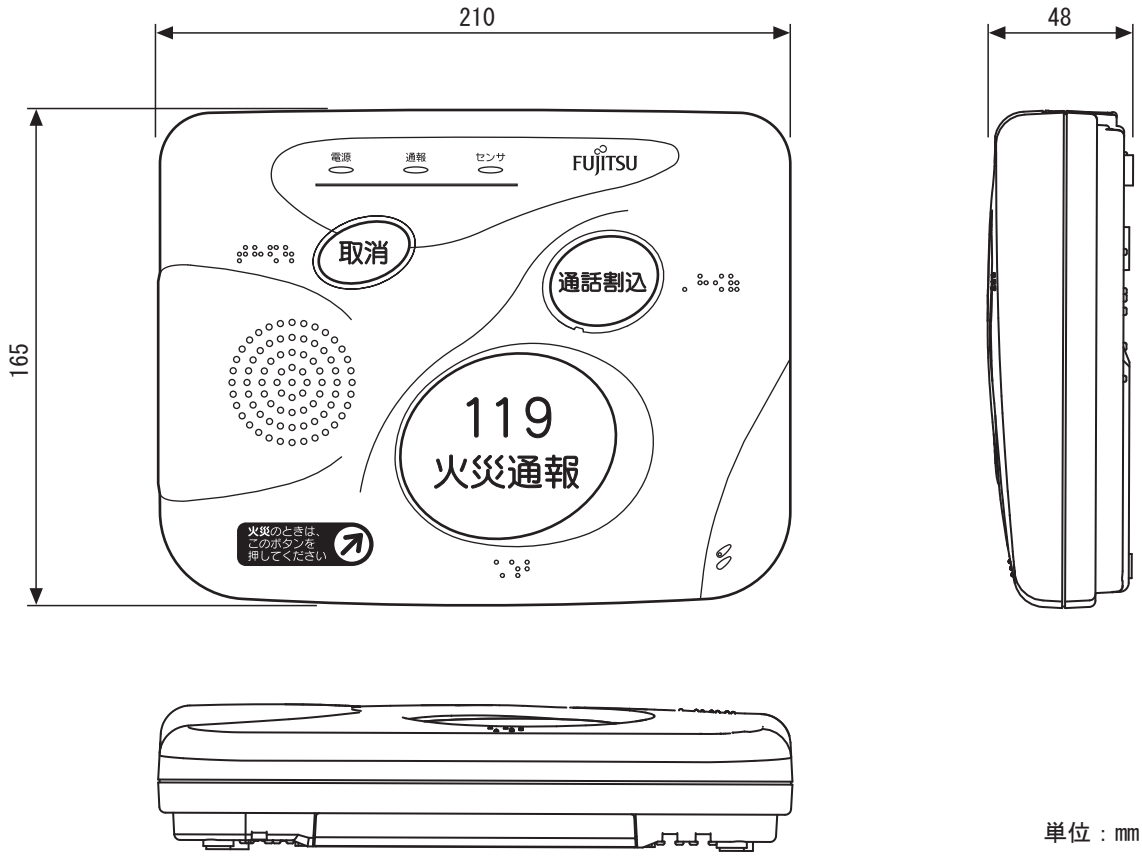
項目	仕様	備考
センサ入力	5入力（最大開放電圧DC+12V　最大流出電流7mA）	無電圧接点 （ｹｰﾌﾞﾙ長 100mMAX）
センサ用電源出力	2出力（最大定格　DC 5V　15mA）X1、（最大定格　DC12V　50mA）X1	

・警報出力接続橿器（参考品）

項目	仕様	備考
回転灯	ＫＪＳＢ－１１０　　（株）パトライト	
ストロボリンガー	ＳＴＲ－Ｂ　ソフト＆ハード	

第Ｖ部　添付資料

１　ＨＦＡ２００本体の外観図

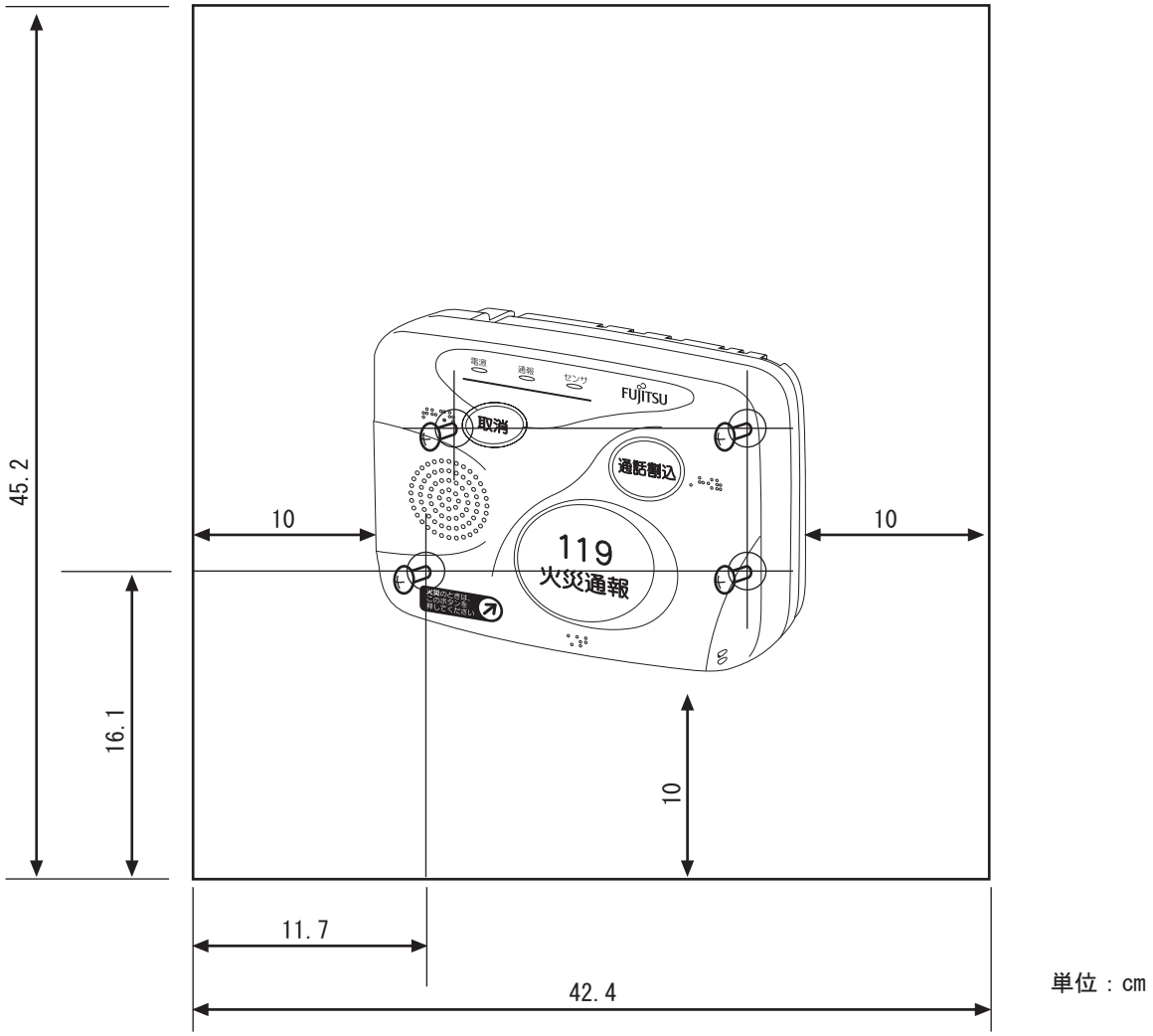


単位：mm

2 設置スペース（壁掛け）

取り付けネジの位置決めには「第Ｖ部 ８ 位置決めテンプレート」をご利用下さい。

壁掛け用木ネジ 4本



単位：cm

3 設置工事チェックシート

① 火災ボタン通報でご使用される場合

項目		ﾁｪｯｸ	項目		ﾁｪｯｸ
周辺機器の装置・配線	① 外付け電話機		動作確認	① 火災ボタン通報	
				② メッセージ音量の調整	
				③ ハンズフリー音量の調整	
本体との接続	① ＬＩＮＥ			④ 停電動作	
	② ＴＥＬ				
	③ ＡＣ１００Ｖ				
	④ バッテリー				
設定作業	① 動作設定				
	② 常夜灯の設定		最終確認	① ＡＣ１００Ｖ	
				② コンセント抜け防止金具	
				③ 火災ボタン通報	

② 火災ボタン通報と自動火災報知設備連動（センサ１）通報でご使用される場合

項目		ﾁｪｯｸ	項目		ﾁｪｯｸ
周辺機器の装置・配線	① 外付け電話機		動作確認	① 火災ボタン通報	
	② 連動切替スイッチ			② 自動火災報知設備連動（センサ１）通報	
				③ メッセージ音量の調整	
本体との接続	① ＬＩＮＥ			④ ハンズフリー音量の調整	
	② ＴＥＬ			⑤ 停電動作	
	③ センサ（センサ入力１）				
	④ ＡＣ１００Ｖ				
	⑤ バッテリー				
設定作業	① 動作設定		最終確認	① ＡＣ１００Ｖ	
	② 常夜灯の設定			② コンセント抜け防止金具	
				③ 火災ボタン通報	
				④ 自動火災報知設備連動（センサ１）通報	

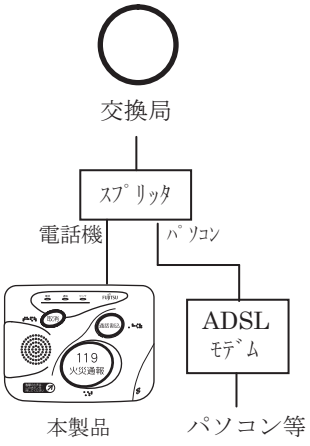
③ ①,②に加えてセンサ通報（センサ２～５）通報でご使用される場合

項目		ﾁｪｯｸ	項目		ﾁｪｯｸ
周辺機器の装置・配線	① 外付け電話機		動作確認	① 火災ボタン通報	
	② 連動切替スイッチ			② 自動火災報知設備連動（センサ１）通報	
	③ センサ類			③ センサ２通報	
	④ 外部警報出力機器			④ センサ３通報	
本体との接続	① ＬＩＮＥ			⑤ センサ４通報	
	② ＴＥＬ			⑥ センサ５通報	
	③ センサ（センサ入力１）			⑦ メッセージ音量の調整	
	④ センサ（センサ入力２～５）			⑧ ハンズフリー音量の調整	
	⑤ ケイホウ			⑨ 外部警報機器	
	⑥ ＡＣ１００Ｖ			⑩ 停電動作	
	⑦ バッテリー				
設定作業	① 動作設定		最終確認	① ＡＣ１００Ｖ	
	② メッセージ設定			② コンセント抜け防止金具	
	③ 常夜灯の設定			③ 火災ボタン通報	
				④ 自動火災報知設備連動（センサ１）通報	

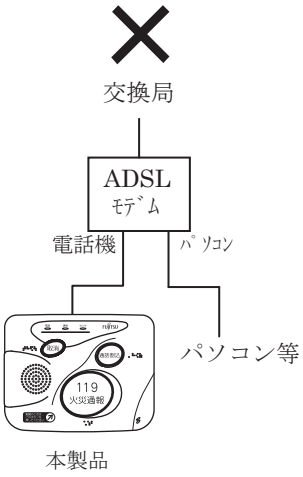
4 ADSLをご利用されている場合

スプリッタ外付けタイプのADSLモデムをご利用されている場合、スプリッタの電話接続口に本製品を接続することで、
ADSL回線を使用することができます。ただし、スプリッタ内蔵タイプのADSLモデムをご利用されている場合は、
本製品をADSL回線に接続することはできません。なお、ADSLモデムの電話接続口には、本製品を接続しないで下さい。

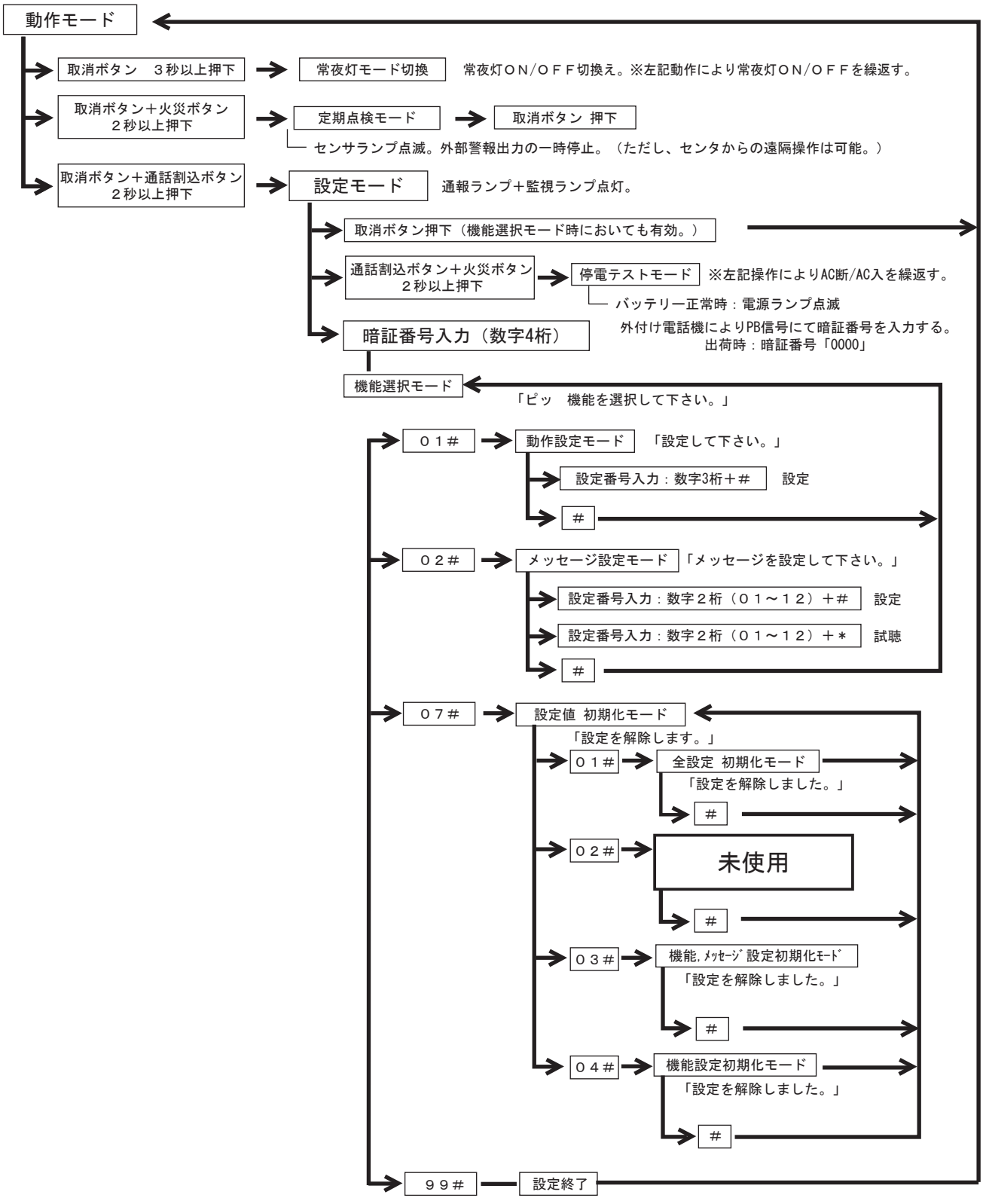
ADSL 回線への接続方法



以下の接続は不可です。



5 設定モード遷移図


動作モード
取消ボタン　3秒以上押下
常夜灯モード切換
常夜灯ON/OFF切換え。※左記動作により常夜灯ON/OFFを繰返す。
取消ボタン＋火災ボタン
2秒以上押下
定期点検モード
取消ボタン 押下
センサランプ点滅。外部警報出力の一時停止。（ただし、センタからの遠隔操作は可能。）
取消ボタン＋通話割込ボタン
2秒以上押下
設定モード
通報ランプ＋監視ランプ点灯。
取消ボタン押下（機能選択モード時においても有効。）
通話割込ボタン＋火災ボタン
2秒以上押下
停電テストモード
※左記操作によりAC断/AC入を繰返す。
バッテリー正常時：電源ランプ点滅
暗証番号入力（数字4桁）
外付け電話機によりPB信号にて暗証番号を入力する。
出荷時：暗証番号「0000」
機能選択モード
「ピッ　機能を選択して下さい。」
０１＃
動作設定モード
「設定して下さい。」
設定番号入力：数字3桁＋＃
設定
＃
０２＃
メッセージ設定モード
「メッセージを設定して下さい。」
設定番号入力：数字２桁（０１～１２）＋＃
設定
設定番号入力：数字２桁（０１～１２）＋＊
試聴
＃
０７＃
設定値 初期化モード
「設定を解除します。」
０１＃
全設定 初期化モード
「設定を解除しました。」
＃
０２＃
未使用
＃
０３＃
機能,ﾒｯｾｰｼﾞ設定初期化ﾓｰﾄﾞ
「設定を解除しました。」
＃
０４＃
機能設定初期化モード
「設定を解除しました。」
＃
９９＃
設定終了

6 火災ボタン・自動火災報知設備連動（センサ1）通報以外の通報事象

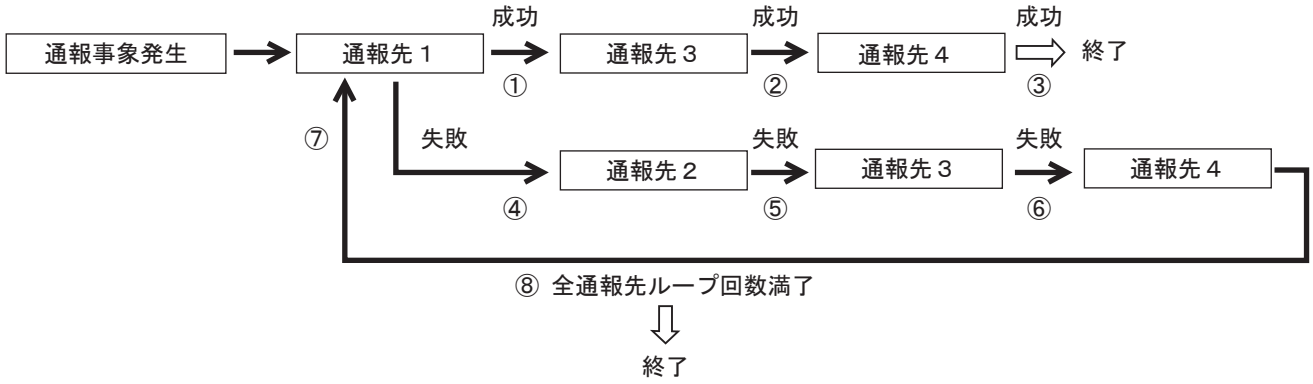
6．1 通報動作について

センサ（2～5）通報は、本製品の動作設定により、通報事象毎に最大４箇所の通報先に通報を行うことができます。
また、各通報先への通報条件（通報失敗時どうする？、通報成功時どうする？）も動作設定により、設定することができます。
通報先の設定状態と通報動作例を説明します。

〇通報先の設定例（センサ２通報の場合）

設定名	センサ２通報先設定							
	通報先１		通報先２		通報先３		通報先４	
	設定番号	設定値	設定番号	設定値	設定番号	設定値	設定番号	設定値
ループ回数	（５１７）	3	（５１８）	3	（５１９）	3	（５２０）	3
ループ満了時移行先		通報先２		通報先３		通報先４		通報先１
通報成功時移行先		3		3		4		0
通報失敗時移行先		2		3		4		1
通報先電話番号マスター		2		3		4		5

〇上記設定時の通報動作を説明します。



（１）全ての通報が成功した場合

① 通報先１　通報成功
通報設定の内容により「通報成功時移行先」（通報先３）に移行します。

② 通報先３　通報成功
通報設定の内容により「通報成功時移行先」（通報先４）に移行します。

③ 通報先４　通報成功
通報設定の「通報成功時移行先」（通報先０＝終了）の内容により、通報動作を終了します。

（２）全ての通報が通信異常／相手話中、等により終了した場合

④ 通報先１　通報失敗
通報設定の内容により「通報失敗時移行先」（通報先２）に移行します。
その際にループ回数（３回）を＋１します。

⑤ 通報先２　通報失敗
通報設定の内容により「通報失敗時移行先」（通報先３）に移行します。
その際にループ回数（３回）を＋１します。

⑥ 通報先３　通報失敗
通報設定の内容により「通報失敗時移行先」（通報先４）に移行します。
その際にループ回数（３回）を＋１します。

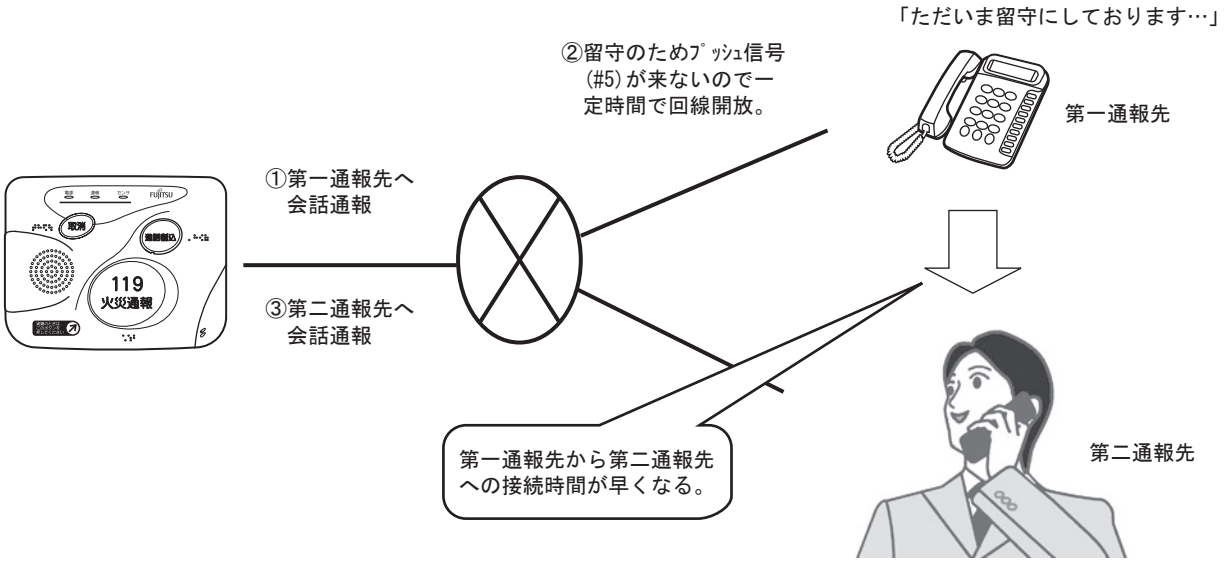
⑦ 通報先４　通報失敗
通報設定の内容により「通報失敗時移行先」（通報先１）に移行します。
その際にループ回数（３回）を＋１します。

⑧ 全通報先ループ回数満了
全通報先のループ回数が設定されている値になったとき、通報動作を終了します。

６．２ 通報先が留守番電話機の場合の対応について

通報先が留守番電話（FAX機能付き留守番電話機も含む）の留守メッセージで応答した場合に短時間（数十秒）で通報を停止し、次の通報先へ通報を行うための機能です。本機能は、通報先マスター番号に通報方式が「会話（留守電対応）」に設定された電話番号マスター番号を設定している場合、その通報先についてのみ有効な機能です。

例：第一通報先の電話番号２が留守番電話機設定「あり」で、通報モードが会話通報。
　　第二通報先の電話番号３の通報モード設定が会話通報。



本機能を利用する場合、通報先で電話機が応答した場合（人が電話をとった場合）は、電話機から＃５または、＊＃５を入力することによって会話時間指定で設定した時間だけ、会話が可能となります。入力しなかった場合、本製品は、「留守メッセージが応答した」と判断して「設定番号３２５：留守番電話機対応時間」に設定されている時間（10～99秒）で電話を切り、次の通報先（「成功時の移行先」で設定されている通報先）への通報を行います。

7　トラブルシューティング

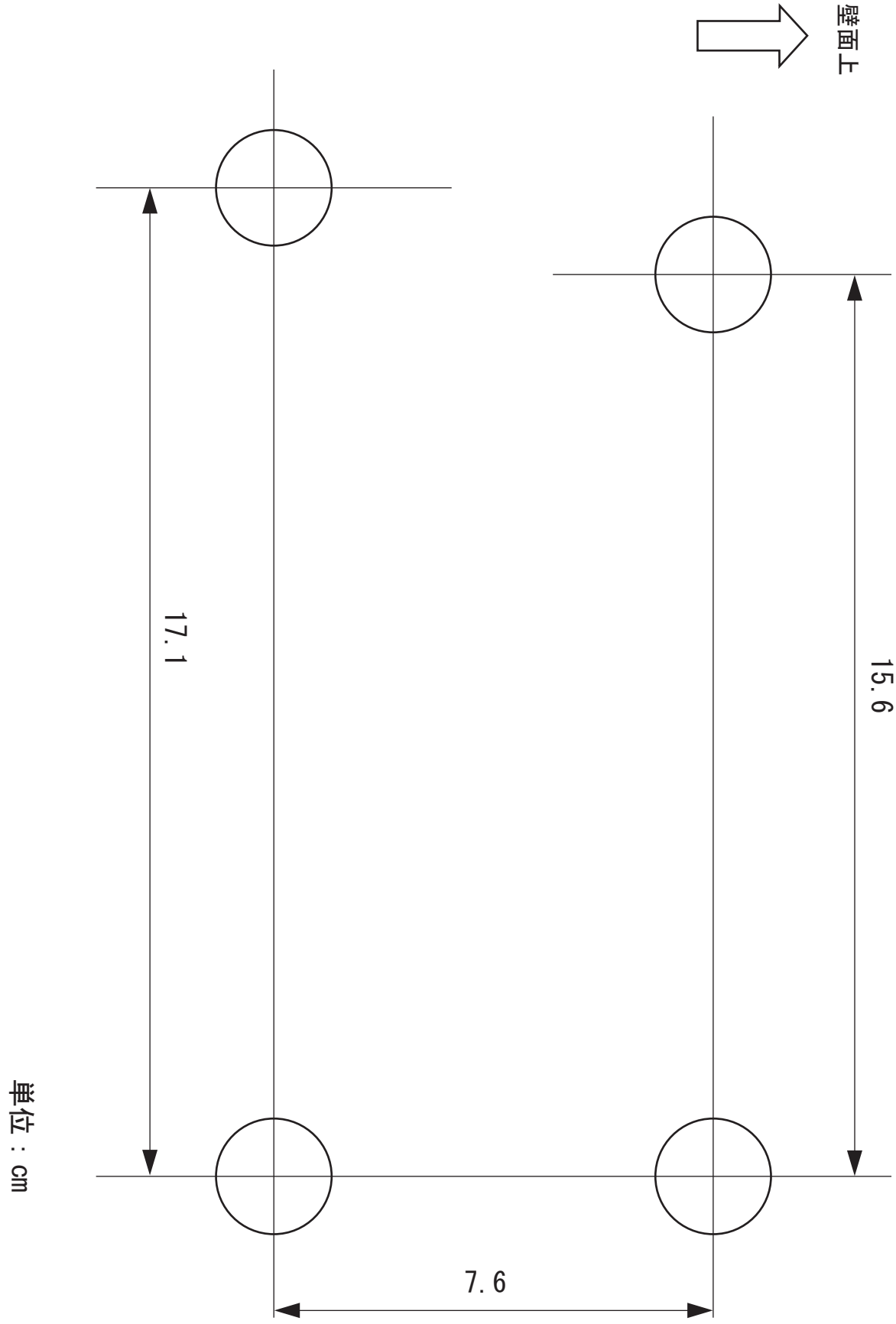
故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認下さい。

こんなときは	ここをお調べ下さい	対処	参照ページ
電源が入らない。	・電源プラグが正しく接続されていますか？	正しく接続して下さい。	5
	・ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを入れて下さい。	5
火災ボタンを押しても動作しない。	・電話番号の設定はされていますか？ ・通報先は設定されていますか？	正しく設定して下さい。	6
設定モードにならない。	・通報動作中ですか？	通報動作中は設定できません。 通報動作終了後、設定モードにして下さい。	－
	・停電状態ですか？	停電中の設定はできません。 通電状態にして下さい。	－
電話機から設定できない。	・機能選択モードになっていますか？	機能選択モードにして下さい。	6
	・外付け電話機の接続は間違いありませんか？	正しく接続して下さい。	4
	・トーン（ＰＢ）信号になっていますか？	トーン切換えをして下さい。	－
外部警報出力がでない。	・外部警報停止機能が働いていませんか？	取消ボタンを押してから再度確認して下さい。	２８
	・接続機能との条件は一致していますか？	定格を確認して下さい。	３３
停電動作ができない。	・バッテリーは充電されていますか？	１０分以上充電してから再度確認して下さい。	２４
	・バッテリー寿命ではありませんか？	バッテリーを交換して下さい。	２７
センサが動作しても通報しない。	・接続に間違いがありませんか？	正しく接続して下さい。	4
	・接点入力の設定は間違いありませんか？	正しく設定して下さい。	１０
メッセージやメロディの音が大きい（小さい）。	・音量調整しましたか？	設定を変更して音量を調整して下さい。	9
ハンズフリー通話時の相手の声が大きい（小さい）。	・音量調整しましたか？	設定を変更して音量を調整して下さい。	9
ハンズフリー通話時に相手の声が途切れる。	・相手の通話中に話しかけていませんか？	交互に話すように利用者に指導して下さい。	－
	・近くにテレビ、ラジオ、空調機器（ファン）、警報機器等、音が出ている物はありませんか？	音を消して下さい。難しい場合は、本製品や警報機器の設置場所を調整し、音の影響が少なくなるようにして下さい。　※	－
会話通報時にハンズフリー状態にならない。	・外付電話機の受話器が外れていませんか？	受話器を戻して下さい。	－
火災ボタンを押していないのに火災ボタンが点灯している。	・常夜灯機能です。 必要に応じて設定を解除して下さい。	解除操作して下さい。	２２
本体があたたかい。	・内部に発熱するところがあり、多少温度が上がります。	故障ではありません。	－
火災ボタンを押すとカチカチと鳴る。	・大きなボタン面のどこを押しても検知できるように、複数のスイッチを内蔵しておりますので、複数のスイッチ音が鳴ります。	故障ではありません。	－
電源ランプが早く点滅している（1秒点灯、1秒消灯）、定期的（１分）に音（ピッ）が鳴っている。	・装置故障ですので、装置交換が必要です。 警報音は取消ボタン止められます。	販売店もしくは施工店に連絡して下さい。	－
火災ボタンとその他3つのランプ（通話割込ボタン、通報、センサ）が交互に1秒点滅している。	・もう一度電源プラグを入れなおして、電源ランプが点灯すれば正常です。電源プラグを入れなおしても、火災ボタンとその他3つのランプ（通話割込ボタン、通報、センサ）が交互に1秒点滅している場合は装置故障ですので、装置交換が必要です。	販売店もしくは施工店に連絡して下さい。	－

※　本製品のハンズフリー会話機能では、防火対象物と消防機関間の送話／受話の切り替えを自動で行っておりますが、防火対象物側からの送話を優先としております。このため、防火対象物側に音を出す物がありますと、消防機関側からの声が途切れることがあります。

8 位置決めテンプレート

このページを取り付け壁面に当て、取り付け用木ねじの下孔（４ヶ所）をあけます。



コメント用紙

本書について、お問い合わせ、ご意見、ご要望等ありましたら、本コメント用紙に記入の上、弊社サービス窓口までご送付下さい。

システム名：　特定火災通報装置

資料名称：　特定火災通報装置　ＨＦＡ２００　設置工事説明書

年　　月　　日

お客様社名：

所属部署名：

ご担当者名：　　E-Mailアドレス：

電話番号：　　FAX番号：

ページ番号	コメント

お問い合わせシート

本製品の動作に疑問を感じたときのお問い合わせチェックシートです。本チェックシートにしたがい、チェックおよび記載の上、弊社サービス窓口までご送付下さい。

システム名	特定火災通報装置
装置名称	特定火災通報装置　ＨＦＡ２００
発生日時	年　　月　　日
復旧日時	年　　月　　日
お客様社名	
所属部署名	
ご担当者名	
E-Mail	
電話番号	
FAX番号	
発生経緯	
対処	
現在の状況	

【特定火災通報装置設置工事説明書についてのお問い合わせは下記のサービス窓口へ】

富士通テレコムネットワークス株式会社

支援センター：TEL　044-813-5184（ダイヤルイン）

FAX　044-813-5185

特定火災通報装置
HFA200
設置工事説明書
T101-2020-01
2011年 06月 初版
富士通テレコムネットワークス株式会社

特定火災通報装置についての問い合わせは、下記に申し付け下さい。

連絡先
FUJITSU 富士通テレコムネットワークス株式会社
支援センター ☎ (044)813-5184

●本書は、改善のため予告なく変更することがあります。
●無断転載を禁じます。
●落丁、乱丁本はお取替え致します。